

青年學校教育費國庫補助法案特別委員會議事速記錄第一號

第七十四回
貴族議會

昭和十四年三月十三日（月曜日）午後一時
四十六分開會

ラ開會致シマス

○委員長(侯爵徳川義親君) 大臣ハ向フノ

コチラニオ出ニナツテ戴クコトニ致シマシ
タカラ、御質問戴イテ居ツテ、若シ大臣が見
エマシタラ其ノ時ニ繰替ヘルコトニシタイ
ト思ツテ居リマス

思テ居リマス

○男爵大森佳一君 ゾレデハ私先ニ失禮致

シマスガ 前會ノ時ニ義務制度ヲ布クト
フ問題ニ付キマシテ政府委員カラ御説明ヲ
戴キマシタ、ソレニ付キマシテ簡単ニ伺ッテ

置キタイプアリマス、總て教育制度ニ關スル法規ハ、多クハ勅令ヲ以テ定メラレテ居ルノガ大多數デアリマス、普通ノ學校ト

法律デ規定サレテ居ルト云フダケデアリマシテ、小學校ト云ヒ、中學校ト云ヒ、各種ノ學校ト云ヒ、實業學校ト云ヒ、總テ勅令デ規定サレテ居リマス、而シテ國民ニ義務ヲ強制致シテ居ル性質ノモノ、是ハ小學校

ノ就學義務ニ付キマシテハ勅令ノ小學校令、
今回發布セラレヨウトスル青年教育制度ニ
付キマシテモ、勅令デシヨウカト云フ御所
見ヲ承ッテ居リマス、私ハ元々法律論ヲ致シ
タクナインデアリマスガ、唯簡單ニ法律論
トシテ承ッテ置キタイノハ、義務ヲ國民ニ強
制スルニ付テ、教育ノ法規ハ從來沿革上總
テ勅令ヲ以テシテ、立法協贊ノ手續ヲ執ラ
ズニヤツテ居ル慣習、沿革ガアル、此ノ沿革
ヲ今回モ蹈ンデ行キタイ、此ノ沿革カラ外
レルコトヲ欲シナイト云フ御説明デアリマ
ス、私ハ此ノ慣習上ノ沿革ハ、法律上カラ
言フテ正シクナイモノト實ハ考ヘテ居リマ
ス、兎ニ角慣習ハアリマス、沿革ハアリマ
スガ、法律上カラ言ヘバ是ハ私ハ確カニ日
本ノ法律制度ノ變例デアル、稀ナル變例デ
アルト見ルヨリ外ニ仕方ナイト思ヒマスル
ガ、此ノ變例ガ正シイカ正シカラザルカト
云フコトニナリマスルト、遽ニ論ゼラレナ
イノデアリマス、政府ニ於カレマシテハ此
ノ變例ヲ正當ナリトスル理由ニ付テ、如何
ナル御考ヲ御持チニナリマスルカ、此ノ變
例ヲ更ニ踏ンデ行クコトガ正シナイト云フ
風ニ御考ニナリマスル理由ガアリマスルカ、

トガ非常ニ煩雜デアル、幸ニ此ノ沿革ガア
ルカラ此ノ沿革ニ乘ツテ行クト云フ、此ノ沿
革ニ藉口シテ此ノ立法手續ヲ執ルノ煩ヲ避
クルト云フ意味デ、此ノ沿革ニ乘ツテ行クト
云フ御考デアリマスルナラバ、私ハ何ヲカ
言ハンデアリマス、是カラモ此ノ變例ヲ續
ケテ行クト云フコトヲ、正當化スル理論ガ
アリマスルカドウカヲ承ツテ置キタイト思
ヒマス、政治論ニ關スルコトハ私ハ一切政
府委員ニ伺ヒマセヌ、法理論ニ付テ、是ガ
正シク考ヘラレルト云フ理論ヲ参考ノ爲ニ
承ツテ置クノデアリマス、私ハ後ニ大臣ニ政
治方面ノ事柄ニ付キマシテ御意見ヲ承リマ
スルガ、政府委員ニ對シマシテハ、此ノ法
律論ニ付テ簡単ニ御答辯ヲ願ヘレバ仕合セ
ダト思ツテ居リマス

マスルコトニ付テ、其ノ法理論的ノ基礎ハ
何處ニアルカト云フ御尋ノヤウニ伺ヒマス、
私カラ御答ヘ申上ゲマスルコトハ甚ダ憲載
ナコトデゴザイマシテ、如何カト思ハル、
點モアルノデゴザイマスルガ、政府委員ト
致シマシテ一應申上ゲテ見タイト存ズルノ
デアリマス、御承知ノ通り我ガ國ニ於キマ
シテハ教育制度ノコトニ關シマスル事項
ハ、樞密院ノ御諮詢ヲ得マシテ勅令ヲ以テ
定メル、斯様ナ沿革ト相成ッテ居リマス、此
ノ沿革ガ定リマシタニ付キマシテハ、深キ
考慮ノ下ニ斯クノ如キコトニ相成ッタト考
ヘルノデアリマスガ、此ノ勅令ヲ以テスル
ト云フコトハ、法理的ニ考ヘテ違法ノ點
ガアルノデハナカラウカ、斯ウ云フ御疑
問ヲ間々承ルノデアリマス、是ハ大變法
律論ヲ申上ゲマシテ恐縮ナノデゴザイマ
スガ、日本ノ憲法ノ建前カラ申シマシテ、
御承知ノ通り憲法ニ於キマシテハ、是非
法律ヲ以テスルヲ必要トスル事項、所
謂立法事項ト云フモノハ限定致サレシテ居ル
ノデゴザイマシテ、其ノ立法事項以外ノモ
ノハ必ズシモ法律ヲ要シナイト云フノガ、
我ガ國ノ憲法ノ建前デアルト考ヘルノデゴ

ザイマス、廣ク臣民ニ義務ヲ賦課スルモノ

アリマス

ハ、是ハ總テ法律ヲ以テ規定スルコトヲ必
要トスル、斯様ナ制度ハ我が國ニ於テハ採
ラナイモノト考ヘテ居ルノデアリマシテ、
從ヒマシテ此ノ點ノ法理論ト致シマシテハ、
教育ニ關シマスル事項ハ、憲法ニ列記セラ
レマシタ所ノ所謂立法事項ニ該當致シマセ

○男爵大森佳一君 多分サウ云フ御説明デ
アラウト想像ヲシテ居ツタノデアリマスガ、
之ニ付キマシテハ申上ゲレバ議論ニナリマス
スカラ、此ノ問題ニ付キマシテハ、法理論
ト致シマシテハ質問應答ヲ止メタイト思ヒ
マス、私ハ政治論ト致シマシテ、大臣ニ後
ト承リタイト思ツテ居リマス

定メマシテモ適法ナモノデアル、斯様ニ法理的ニ考ヘルノデアリマス、尙此ノ點ニ關シマシテハ、實ハ先般衆議院ニ於キマシテモ色々御論議ガアリマシテ、一委員カラ此ノ點ノ御質問ガアリマシテ、平沼内閣總理大臣カラモ答辯ガゴザイマシタガ、其ノ時ニモ、其ノ速記録ガアリマスルガ、平沼内閣總理大臣カラモ、從來カラ我ガ國ニ於キマシテハ教育制度ノコトハ勅令ヲ以テ定ムル、即チ勅令事項ニナツテ居ルノデアツテ、將來モ大體之ニ依ツテヤツテ行キタイ、斯様ナコトヲ總理大臣カラ御答ガアッタヤウナ次第デアリマス、其ノ法理的ノ點ハ只今申上ゲマシタヤウナ點ニアルノデゴザイマシテ、ニハ屬シナイモノト考ヘマス、大變法理論デアリマシテ、申上ゲルト恐縮ニ存ズルノデアリマスルガ、左様ニ考ヘテ居ル次第デ

○男爵紀俊秀君 大森サンガ法律ニスルカ
勅令ニスルカト云フ 御話ヲ大臣ト御間答ニ
ナルサウデスカラ、其ノ間ニ此ノ問題モ、
私モ大臣ニ結局ハ御聽キシタインデスケレ
ドモ、大體ノ問題ニ付テ政府委員ニ聽キタ
イ、ソレハ先づ出席率ノコトヲ一つ伺ッテ見
タイ、此ノ義務制ニシマシテヤリマシテモ、
出席率ガ惡イト云フコトニナレバ、折角義
務制ニシテモ何ニモナラナイ、處ガ只今迄
ノヤリ方デゴザイマスト、私ハ極メテ出席
率ガ惡イト思ヒマス、其ノ事ニ付テハ政府
ニ確タル計數ヲ示スコトガ出來ナイト云フ
御話デスガ、殘念デアリマスケレドモ、是
ハドウモ實際分リマスマイト思ヒマスケレ
ドモ、併シ出席率ガ良イト云フコトハ、政
府當局ニモ之ヲ肯定スルコトハ出來ナイダ
ラウ、大都市ニナレバナル程出席率ガ惡イ
ヤウニ私ハ見テ居リマス、ソンナラ農村山

率ヲ良クシヨウトスレバ良クセラレナイコトハナイ、ソレモ大都會デハドウモソレボウマク行カナイ、僻地ニ行キマスト割合ニサウ云フヤウニ、其ノ時ダケ場面ヲツクラフト云フコトガ出來マスカラ、報告書デオリハ僻地ハ割合ニ出席率ガ良イト、斯ウ御認ニナルカ知レマセヌガ、私ノ實地視察シタ所ニ依リマスルト、出席率ハ極メテ惡イソレデドウモ私ハ矢張リ義務制ニナサッテモ、是ハ出席率ガ著シク變ッテ來ルト云フコトハ、ドウモ期スルコトガ出來ナイ、併シナガラ斯ウ云フヤウナ方法ヲ用ヒテ、サウシテ出席率ヲ良クスル、斯ウ云フ何カ政府ノ方ニ出席率ヲ是非良クスルト云フ方策ヲ何レ御持チニナッテ居ルニ違ヒナイ、ソレデ義務制ニナリマシタラドウ云フヤウナ方策ヲ以テ出席率ヲ良ク爲サルカト云フ、其ノ御計畫ヲ一ツ承リタイ、ソレヲ先づ伺ッテカ

ラ序ニ伺ヒマスガ、若シ其ノ青年學校ニ出席ヲシマセヌト、ドウシテモソレヲ促シテモ出席ヲシマセヌト云フヤウナ場合ニハ、何等カノ制裁デモシテ、サウシテ之ヲ強要爲サルト云フヤウナ御考ナノカ、其ノ邊ノ所モ併セテ伺ツテ置キタイト思ヒマズ

マスル所ノ出席率ノ向上ノコトニ付キマシテハ、青年學校ノ事ニ當ツテ居リマスル者ト致シマシテ、内々多大ノ苦心ヲ拂ツテ居ルノデゴザイマスルガ、尙義務制ニ相成リマシテ一層ノ努力ヲ拂ハナケレバナラヌコトト思ヒマス、只今紀委員カラ御話ガゴザイマシタヤウニ、從來都市ニ於キマスル所ノ出席率ハ相當惡イト云フヤウナ狀況ガ考ヘラレルノデアリマスガ、農村ニ於キマシテハ、私共ノ考ヘテ居リマスル所ニ依リマシテハ、相當良イ成績ヲ擧ゲテ居ル所ガ少クナイデアリマスルガ、尙又農村方面ニ於キマシテモ、出席率ガ必ズシモ良イト申サレナイ地方モ相當アリマスルコトハ事實デアリマス、何レニ致シマシテモ義務制ノ實施ニ伴ヒマシテ出席率ノ向上ヲ圖ルト云フコトハ、就學ノ向上ヲ圖リマスルコトニ必

然的ニ關聯致シマシテ、最モ重要ニ考ヘル所デゴザイマス、此ノ點ニ關シテ當局ハド御尋デアリマスルガ、現在出席率ガ惡イ原因ガ何處ニアルカト云フコト聯關致スノデアリマスルガ、先ヅ第一ニ法制的ノ見地カラ申シマスルト、現在ニ於キマシテハ青年學校ノ就學ガ任意的ニ相成ツテ居リマスルノデ、之ヲ今回制度ヲ改ヌマシテ義務制ト致シマシタ場合ニ於キマシテハ、此ノ點ニ於キマシテ實際的ニモ又生徒竝ニ其ノ父兄、雇傭者等ノ關係ニ於キマシテ、心理的ニモ非常ニ大キナ差異ガアルコトト思フノデアリマス、義務制ニ致シマシタ結果ト致シマシテ、其ノ事自體が出席率ノ向上ニ資スルコトガ蓋シ多イモノト考フルノデアリマス、尙出席率ノ點ニ考ヘマシテ、從來都市ノ方面ガ特ニ此ノ出席率ノ向上ニ困難ヲ感ジテ居ラタ實情デアルコトハ、先程申上ゲタ通リデアリマスルガ、此ノ點ハ都市ニ於キマスル所ノ青年學校就學該當ノ青年ガデスネ、他人ニ雇傭致サレテ居リマシテ、其ノ雇傭關係ト就學出席關係トノ調節ガ甚ダ困難ナ事情ニアリマシタコトガ、其ノ最大重大ナ事情ノ一つデアラウト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ關シマシテ政府ニ於キマ

シテハ、今回青年學校ニ就學セシメラルベキ者ノ勞働時間ニ關シマシテ、特別ノ法律ヲ制定致シタイト考ヘマシテ、帝國議會ノ御審議ヲ只今煩ハシテ居ル次第デゴザイマス、此ノ法律ニ依リマスルト、青年學校ニ就學致シマシテ、此ノ義務トスル課程ヲ修メマスル時間ハ之ヲ勞働時間ノ中ニ、勞働時間ト看做ス、斯ウ云フ規定ヲ持ッテ居リマスルノデ、此ノ點ニ於キマシテ非常ニ多クノ點ニ於キマシテ困難ナ事情ガ、法律的ニ除去致サレルノデハナカラウカト思フノデアリマス、要スルニ法律的ニ考ヘマシタ場合ニ於キマシテハ……、制度的ニ考ヘマシタ場合ニ於キマシテハ、青年學校ニ就學シ出席スルコトヲ義務ト致シマスルコト、又出席致シマスル所ノ時間ヲ勞働時間ト看做スト、斯ウ云フヤウニ法制ヲ整備致シマスルコトニ依リマシテ、非常ニ此ノ出席率ノ向上ニ資スルコトニ相成ラウト思フノデアリマス、併シナガラ青年學校ニ於キマスル所ノ出席率ヲ向上致サシメマスルノハ、固ヨリ斯ウ云フ法規ニ依リマシテ、謂ハド強制スルコトダケニ依シテ其ノ目的ヲ達スルコトハ困難デアリ、又策ノ得タルモノデハナイト考フルノデアリマス、制度ヲ離レタ實質

的意義ニ於テ此ノ出席率ヲ向上致サシムル
爲ニ、當局ト致シマシテハ一層ノ努力ヲ致サシム
點ニ關シマシテハ一青年學校ノ教育内容ヲ改善
善致シマシテ、眞ニ青年學校ニ就學致シマスコト
ガ有益デアルコト、又今一ツハ教授方法ニ
於テ相當ノ工夫ヲ凝シマシテ、勤勞青年ガ
勤勞ノ傍ラ勉學致スノデアリマスカラ、其
ノ點ニ十分ニ興味ヲ感ゼシムルヤウニ工夫
ヲ凝スコトガ必要デアルト考ヘルノデアリマス
マス、斯ウ云フ點ニ關シマシテハ主トシテ
其ノ間ノ問題ハ、教師ニ其ノ人ヲ得ルコト
教師ノ努力ニ俟ツ所ガ多イノデゴザイマス
カラ、今後青年學校ニ於キマスル處ノ教員
ノ充實茲ニ其ノ教育ノ教授訓練方法ノ改善
ト云フ點ニ向ヒマシテ、要スルニ教員ノ養
成方法、指導方法ト云フ點ニ向シテ、當局ト
シテハ一段ノ努力ヲ加ヘタイト考ヘテ居ルコトニ
次第デアリマス、尙今一ツハ、青年學校ニ
於ケル所ノ出席ヲ困難ナラシメル今一ツノ
實質的理由ハ、主ニ經濟問題ニアルコトト
考ヘルノデアリマス、從ツテ是ハ前會御答申
上ゲタ就學獎勵ノ施設ヲ相當講ズルコトニ
依リマシテ、此ノ點ノ困難モ或ル程度迄鑑
和致シタイト考ヘルノデアリマス、即チ政
府ニ於キマシテ或程度ノ能力ヲ限リ就學獎勵

ノ經費モ支出シ、其ノ施設ヲ講ジタイトト考
ヘルノデアリマスガ、財政其ノ他各般ノ事
情ヨリ致シマシテ、必ズシモ是ガ理想通り
ニハ參ラヌノデアリマスガ、當局ト致シマ
シテハ此ノ點ニ出來ルダケノ努力ヲ致シタ
イト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ又一
般鄉黨ニ於キマシテ就學獎勵ノ施設ヲ講ジ
マシテ、鄉黨各層ノ人ガ協力シテ自分ノ鄉
黨ノ青年ヲ如何ニ育テ上ゲルカ、サウ云フ
霽園氣ノ下ニ就學ヲ獎勵スルコトニ依リマ
シテ、此ノ政府ノ施設ト相俟ッテ生徒ノ就
學、延イテ其ノ出席ノ改善ヲ圖ラシメルコ
トガ必要ナノデハナカラウカ、是等相俟チ
マシテ、即チ法制ノ整備並ニ之ト關聯致シ
等ニ整備擴充等ヲ加ヘマシテ、彼此相俟チ
マシテ就學率出席率ノ向上ニ努力ヲ加ヘタ
イト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、第
二ニ出席シナカッタ場合ニ何等カ制裁ヲ加
フル方法ヲ考ヘテ居ラナイカ、斯様ナ御質
問デゴザイマシタガ、此ノ點ニ付テハ大體
小學校ノ例ヲ逐ヒマシテ、出席致シマセヌ
デシタ場合ニ於テハ其ノ督促スル手續ヲ執
リ、其ノ義務教育ノ本旨ト云フモノヲ十分
說キ勸メマシテ、其ノ保護者ナリ雇傭主ナ

外人ト考ヘテ居ルハテアリマス、此ノ黙ニ
向ヒマシテ、出席シナカッタ場合ニ於テ何等
カ刑罰ヲ以テ臨ム必要ガナイカト云フヤウ
ナ議論ガ、世上ニ屢行ハレルノデゴザイマ
シテ、此ノ議論ト云フモノモ一つノ議論ト
致シマシテ、十分研究スペキモノデアルト
考ヘテ居ルノデアリマス、當局ニ於キマシ
テモ此ノ點ニ付キマシテハ十分ニ考慮致シ
タノデアリマスガ、此ノ就學竝ニ出席ノ義
務ヲ怠リマシタ場合ニ於キマシテ、之ニ臨
ムニ刑罰ヲ以テスルト云フヤウナコトハ、
教育ノ本旨カラ考ヘマシテモ、又保護者ト
子弟トノ關係、其ノ間ノ我ガ國ニ於ケル所
ノ家族制度ノ關係等カラ考ヘテ見マシテモ、
ドウモ策ヲ得タゼノデナイノデハナイカ、
矢張リ其ノ點ハ神聖ナ問題ト致シマシテ、
刑罰法令ニ據ラナイ方法ニ依リマシテ其ノ
就學ヲ督勵シ、其ノ成績ヲ擧ゲルノガ至當
デハナイカ、斯様チ結論ヲ今日得テ居リマ
スヤウナ次第ゴザイマス

○政府委員(田中重之助)　此ノ點ハ、目下衆議院ニ御審議願シテ居リマスル法律案ガ不日貴族院ニ回付致サレマシテ、當委員會ニ於テ御審議戴キマスル節ニ、御質問ガアツタ時ニハ詳細厚生省ノ當局ヨリ御答辯アルコトト存ズルノデアリマスルガ、勞働時間ト看做スト云フ規定ノ趣旨カラ申シマシテ、當局ト致シマシテハ、勞働賃銀ノ低下ヲ來サシスマセヌオウニ十分ニ努力致シタイト、斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○男爵紀後秀君　ソレカラ學科ニ成ルベク興味ヲ持タサウト云フ　ヤウナ今御詰テスガ、ソレハドウ云フヤウニ興味ヲ御持タセニナルノデスカ、大體デ宜シイデスガ、斯ウ云フ興味ヲ持タシテ教育シテ行クノダト云フコトヲ、具體的ニ分ルヤウニ大體仰シケノモノハ減ジマスノデスカ

○政府委員(田中重之助)　間ト看做スト、斯ウ云フコトニナリマスト、其ノ雇主主カラ青年ニ對シテ渡ス給料ハ別ニ變リハナイノグラウト思ヒマスガ、矢張リ同ジ給料ヲヤリマスノデスカ、多少ソレダケノモノハ減ジマスノデスカ

ノ本旨ガテ申シマシテモ、生活ニ良シマシテ、生徒ノ現ニ行シテ居リマスル所ノ共同生活、或ハ職業生活ト云フヤウナモノニ、具體的ニ觸レマシタ所ノ教育ヲ施シマスルコトニ依リマシテ、其ノ效果ヲ學ゲ得ルト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテサウ云フヤウニ生活ニ即シマシテ教育ヲスルコトニ依リマシテ、初メテ能ク理解モ届クノデアリマス、青年學校ニ於キマシテハ短時間ノ教育デゴザイマスルシ、且又勤勞ノ傍ラ致スノデゴザイマスルカラ、サウ云フ生活カラ離レマシタ所ノ、抽象的ナト申シマスルト少シ言葉ガ惡イカモ知レマセヌガ、理論ニ流レ過ギマシタヤウナ教育ヲ施シマスル時ニハ、ナカヽ理解モ困難デアリマスルシ、又先程申上ゲマシタヤウナ意味ニ於キマシテ、興味ヲ持チマスルコトガ困難ト考ヘルノデアリマス、生徒ガ本當ニ自分ノ身ニ附クヤウニ、本當ニ身ニツマサレタ教育トナルヤウニ致シマスルコトガ、結局生徒ガ一番興味ヲ持ツ所以ナノデゴザイマシテ、斯ウ云フ點ニ向ヒマシテ、教育者ハ抽象的アリマス、中央デ作リマシタ所ノ書物デアスルヤウナ工夫ヲシテ貰ヒタイト思フノデアリマスルトカ、或ハ講習會デ聽イテ來マシ

タ事ヲ其ノ儘售ヘルト云フニトノ
致シマシテハ比較的ヤサシイノデアリマス
ルガ、其ノ郷土ニ具體的ニ適合シマシタ所
ノ教材ヲ選ビ又説明致シマスルト云フコト
ハ、ナカニ^ノ困難ナコトヲ十分ニ工夫ヲ
凝ラシ、努力ヲ致シマスルコトガ、青年學
校ノ最大ノ魅力ニ相成ルト思フノデアリマ
シテ、之ガ爲ニハ何ト申シマシテモ青年學
校ニ於キマシテ、青年教育ニ熱意ヲ持ッテ居
リマス所ノ專任ノ教員ト云フモノヲ充實シ
テ行クト云フコトガ、非常ニ重大ナ點デア
ラウト思フノデアリマス、尙是ハ細カイ點デ
ゴザイマスルガ、從來ノ經驗カラ申シマシ
テモ、勤勞ト其ノ學修トノ間ノ連鎖或ハ開闢
聯ト云フコトヲ餘程考ヘルコトガ必要ナン
デアリマシテ、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ
例ヘバ教育ノ教授ノ中ニ、體操デアリマス
トカ、體育デアリマストカ、或ハ音樂デア
ルトカ云フヤウナモノヲ相當ニ交ゼマスルコ
トガ、是ハ興味モ増シマスルシ、心氣ヲ轉
換スル上ニ於キマシテモ、又人格ヲ高ステ
行キマスル上ニ付キマシテモ、餘程效果ガ
アルヤウニ考ヘルノデアリマス、サウ云フ
キマシテハ、相當ニ工夫ヲ凝ラス餘地ガア

○男爵紀俊秀君 興味ト云フコトカラ申シ
マスト、映畫教育ナンゾラ盛ニヤルト云フ
ヤウナコト、サウ云フ青年學校ノ科目デ教
ヘルノニハ、映畫教育ヲ用ヒルト云フヤウ
ナ御考ガアルノデセウカ、ドウデセウカ
○政府委員(田中重之君) 大變申シ残シマ
シテ失禮致シタノデアリマスルガ、映畫教
育ガ今日學校ニ於キマシテ教育上重視致サ
レテ居リマスルコトハ、申ス迄モナイノデ
アリマスルガ、特ニ青年學校ノ如キ教育ヲ
施シマスル場合ニ於キマシテ、映畫ノ利用
ト云フコトガ非常ニ適切デアリ、又效果的
ナモノデヤナイカト云フコトハ、殆ド各方
面ニ於キマシテ言ハレテ居ルコトデゴザイマ
シテ、非常ニ徹底的ニ行クト云フコトハ困
難ナコトト考ヘルノデアリマスルガ、尙小
學校ノ教育等ト云フモ聯闊シ、又他ノ諸設備ト
モ相俟チマシテ、青年學校ニ於キマスル所
局ト致シマシテ更ニ考慮ヲ拂ハナケレバナ
ラナイ重大ナ點デアルト考ヘテ居ル次第デ
ルノデハナカラウトカ、斯様ニ考ヘテ居ル
ヤウナ次第デゴザイマス

○男爵紀俊秀君 大體政府ノ當局ノ出席率
ヲ良クスル御計畫ガ分リマシタノデスガ、
是ハ意見ノ相違カモ知レマセヌケレドモ、
映畫教育ヲ御用ヒニナルト云フコトガ、私
ハ幾分出席率ヲ良クスルト云フ助ケニナル
ダラウト思ヒマスガ、其ノ他ノ御計畫ノ具
體案ニ付テハ、是ダケデ果シテ出席率ガ良
ク出來ルカドウカト私ハ思ヒマスノデス、
私共モ多少此ノ青年學校ヲヤッタ經驗モア
リマスルガ、ドウモ只今仰シヤッタヤウニ今
度ハ義務制ニナッタ、今迄ハ隨意デアッタ、
今度ハ義務制ニナッタ云フノデ、餘程心持
ガ變リマスルノデ、是ハ義務制ダカラ出席
率ヲ良クシナケレバナラヌト斯ウ思ヘルノ
デスガ、思ツテモソレガ出來ルモノデアラウ
カト云フコトヲ私ハ考ヘル、ト云フノハ普
通ノ學校教育ト違ヒマシテ、皆勵イテ居ル
人間ナンデス、一生懸命ニナッテ働イテ居ッ
テ、既ニモウ疲レ切ッテ居ル、其ノ身體デ今
度ハ又更ニ學校ヘ行ツテ勉強ヲシナケレバ
ナラヌ、斯ウ云フコトニナルノデ、寧ロ嫌
ダカラ之ニ就學シナイノデハナク、モウ體
力ガ許サナイ、身力ガ許サナイカラ、ソレ
デ入學ハ出來テモ缺席スルヨリ致シ方ガナ
イト、斯ウ云フコトニナッテ居ルノガ多イノ
デス、モウ出席シテモ居睡リバカリシテ居

ルト云フヤウナ者モアリ、又ソレヲ教へル
先生モ大方兼任デスシ、サウシテ殊ニ小學
校ノ先生ト云フモノハモウ疲レ切ッテ居ル
ノデス、色々ノ仕事ヲ與ヘラレテ……教へ
ル者モ教ヘラレル者モ兩方トモ疲レ切ッテ居
思ヘバ翌日ノ仕事ニ差支ヘル、又翌日十分
ニ働カウト思ヘバ、其ノ學校ニ入學シテ勉
強スルコトガ出來ナイト、斯ウ云フヤウナ
コトニ是迄ハナシテ居ルノデアリマス、併シ
今度ハ二時間ナラニ二時間、三時間ナラ三時
間ト云フモノハ勞働時間ト見テ、ソレダケ
勞働シナインダカラ宜イデヤナイカ、斯ウ
云フヤウニ御思ヒニナルノデセウケレドモ、
併シは事實ハ私ハサウ御考ニナシタ通り
ニウマク行クカドウカ、ト云フノハ兎ニ角
同ジ給料デ其ノ人間ヲ働カシテ居ナガラ、
其ノ時間、其ノ學校ニ居ル間ノ時間ダケハ
兎ニ角其ノ店ノ仕事ヲスルコトガ出來ナイ
ノデスカラ、ソレダケノ補ヒハ何處カデサ
ス途ガナイト、八時間ナラ八時間勞働ヲシ
テ居ル者ガ、二時間學校へ出テ、而モ六時
間ダケデ、後ノ二時間ハ休ンデ居ルデヤナ
イカト云フコトヲ言ハレマスガ、六時間デ
八時間ノ仕事ヲヤラスヤウニナルト思ヒマ
ス、ソレダケノ給料ヲヤルノデスカラ……

サウスルト同ジコトニナルト思フ、ソレデ
此ノ點大分政府ノ御考ニナッテ居ルノト私ハ
違フト思ヒマス、憚イテ居ル傍ラニヤルン
デスカラ、ソレデマア興味ヲ持タスト云フ
ヤウナ御話デモ、其ノ人間ノヤツテ居ル職業、
大工ナラ大工ト云フヤウナ職業ヲヤッテ居
ルト、サウスルト夜ハ何カ大工ニ關係シタ
ヤウナ話ヲシタラ、自分ノヤツテ居ルコトデ
アルカラ、面白イカラ來ルダラウト、斯ウ
政府ノ方デハ御考ニナルノダラウケレドモ、
是ハ私ハ反對ダト思フ、晝ウント働イテ來
テ、其ノ仕事ヲシテ來タ者ガ、其ノ夜又其ニモ
ノ仕事ニ付テ教ヘラレタリ、話ヲサレテモ
興味ヲ持ツモノデハナイ、是ハドウシテモ
轉換サセナケレバイケナイ、晝ノ仕事ト夜
ノ仕事ト轉換サセナケレバイケナイト思フ、
ソコデ映畫教育ナゾニ付テ良イノヲ見セル
ト云フコトニナルト、ソレハ興味ヲ持チマ
セウケレドモ、先生ガ書物ニ依ツテ教ヘルト
カ、話ニ依ツテ教ヘルトカ云フヤウナコトデ
アツタラ、興味ヲ持タシテ居ルノダカラ面白
カラウ、斯ウ教ヘル人ハ仰シヤルカモ知レ
ナイガ、受取ル人間ハチットモ面白イコトハ
ナイ、詰ラナクテ仕方ガナイト私ハ思フ、
ソレデ甚ダ横道ニ入リマシテ如何デスケレ
ドモ、實例ヲ一ツ申上ゲマス、私自治ニ關

相当青年學校ノ必要ヲ説イテ、サウシテ大
勉強サセマセウト思ツテ、相當督促モシ、又
コッチノ雇主カラ苦情ガ出タ、ソレハ斯ウ云
フ苦情ナンデス、ドウモ青年學校へ入レナ
イ前ニハ、家ノ弟子ハ酒モ飲マナカッタシ、
煙草モ吸ハナカッタシ、惡イ夜遊ナゾモ仕
事ノ間ニハシナカッタ、處ガドウモ青年學
校へ入ッテカラハ、打ッテ變々タヤウナ人間
ニナルノガ多イ、斯ウ云フヤウナ聲ガ
各處カラ起ッテ來タ、是ハ私ハ其ノ雇主
ガ青年學校ヲ惡ク言ツテ、サウシテ青
年學校ニ入レタクナイ、ソレダケ仕事ヲ邪
魔サレルカラ入レタクナイト云フ爲ニ、殊
更サウ言ツテ居ルノダト思ツテ居タ、處ガ段々
サウ云フ人ガ多クナッテ來テ、ソコデ吏員ヲ
シテ調べサシタ、サウシタ處ガサウ云フ者
ガ學校へ出ルト言ヒナガラ、學校へ出ズニ、
マア何ト言ヒマスカ、盛リ場ナンゾヘ行ツテ
映畫館ニ入ル、ソレカラ歸リニ酒ヲ飲ンダ
リ、煙草ヲ吸ッタリスルコトヲ友達ニ教ヘ
ラレタリシテ、サウシテ丁度青年學校ノ引
ヶ時分ニ家へ歸ル、出ル時ニハ青年學校へ
行クヤウナ顔ヲシテ、サウ云フ所ヘ行ツテ、

合ハシテ家ヘ歸ツテ來ル、何ソノコトハナ
イ、惡イ事バカリ教ヘラレルト言ツテ居ル
ガ、青年學校デ惡イ事ヲ教ヘラレタノデハ
ナイ、今迄二人三人ノ徒弟ト一緒ニ色々ノ
仕事ヲヤツテ居ツタ奴ガ、今度ハ大勢ノ人間
ニナツテ、惡イ友達ニ色々ナ事ヲ教ヘラレタ
リスル、大概ソレガ映畫館方始リノヤウデ
アルガ、ソコデ如何ニ青年ナリ少年ガ映畫
ヲ樂シムモノデアルカ、如何ニ映畫ナンント
云フモノニ興味ヲ持ツモノデアルカ、映畫
ダケナラマダ宜イ、處ガ映畫館ノ雰圍氣ガ
悪イ、サウ云フヤウナ例ガ多クアッタノデア
リマス、ソレデ私ハ是ハドウシテモ青年
達ハ映畫ト云フモノヲ餘程好クラシイ、
ソンナラ一ツ此ノ映畫デ以テ青年學校デ
一ツヤツテ教育ヲシタラ、是ハ大分足留ニ
ナルト思ヒマシタノデ、相當私映畫教育
ヲヤツテ見タ、サウシタラ餘程ヤツテ來ル人
間ガ多カツタ、ト云フノハ矢張リ學校ナドデ
ヤル映畫ナント云フモノハ、興行館ノ映畫ト
較ベテ、ソレハ或點ニ於テハ興味ハ少イノデ
スケレドモ、ソレデモ兎ニ角毎日青年學校
へ勉強ニ行ツテ居ル、サウシテ其處デ映畫ヲ
見セテ吳レテ居ルト云フノデスカラ、何ト
言ヒマスカ、大ビラニ學校ヘ來ルト云フヤ

ウナコトデ、餘程私ハ興味ヲ持ツヤウニ思
フ、デ此ノ頃アッチコッチニ映畫教育ノ講習
會等アリマシテモ、ソンナ時ニ高等師範ノ先
生デアルトカ、ヤア何博士デアルトカ云フヤ
ウナ人ノ映畫ニ關スル話ナドヲ聽イテ見マ
シテモ、ドウシテモ青年學校ト云フモノノ
出席率ヲ良クスルノニハ、映畫教育ヲ主ニシ
ナケレバイケナイ、斯ウ云フヤウナ話ヲ大
分アッチコッチデ此ノ頃學者ノ說デモ聽キマ
スノデ、私モ實際ヤッテ來マシタノデスガ、
實際ノ經驗カラ見ルト是ハ餘程功能ガアル、
サウシテ見レバ今後此ノ青年學校ノ先生ヲ
養成爲サルノニハ、ドウシテモ是ハ映畫教
育ト云フモノヲ、主ニシナイデモ宜イケレ
ドモ、餘程映畫教育ニ關係シタ學科ヲ教ヘ
テ、サウシテソレノ學習、又技術ノ操縱方
法、サウ云フヤウナコトヲ是デヤッタナラ
バ、アノ迫力ノアル、アノ興味ノアルモノ
デ畫ト夜トノ氣持ガ轉換セラレテ、サウシ
テヤツテ行ケルノデヤナカラウカト云フコト
ヲ私痛感シタノデアリマズ、ソレデ今伺ッタ
時ニ、興味ヲ大イニ持タスト云フノデアル
カラ、殆ド映畫教育デヤルト云フヤウナ御
話ダックタト思フノデスガ、餘程尊重ハ爲サル
ト云フコトデ、大變ニ私ハ意ヲ得テ居リマ
ス、殊ニ社會教育局長サンノ今ノ御答辯デ、

社會教育局デ映畫敎育ニ御努メニナツテ居ルノダカラ、然ルベキコトダト恩フノデスケレドモ、其ノ點ニ力ヲ御入レニナルト云フコトハ大變ニ結構ナコトダト恩フ、唯ソレニ關シテ大工ナラ大工、左官ナラ左官、ソレニ夜ハ又講義シタラ興味ヲ持ツダラウト云フノダケレドモ、ソレハ晝ソレダケヤツテ、又夜ト云フコトハドンナモノデアラウカ、ソレハ何カ休ノ日トカ云フナラ格別デスケレドモ、疲勞シ切ッテ居ルノダカラ、其ノ點私餘リ感心シマセヌノデスガ、是ハモウ尋常小學ノ五年六年ニナリマシテモ、ナカニ其ノ校長ナリ教員ナリガ出席ヲ獎勵スルノニハ、隨分骨ヲ折ッテ居リマス、眼ニハ見エテ居リマセヌ、數字ノ上ニハソレハ現レテ居リマセヌ、現レテハ居リマセヌケレドモ、其ノ數字ノ上ニ於テ相當出席率ヲ良クスルト云フ、其ノ裏ニハ餘程ノ苦心ガアルト思ヒマス、ナカナカモウ五年位ニナリマシタラ、家ノ仕事ノ手傳ヲサシタイトカ、或ハ又子守ニヤルトカ、小僧ニヤルトカ云フヤウナコトニヤラシタイモノデスカラ、家ノ生活ガソレヲ許シマセヌ、ソレヲバ隨分骨ヲ折ッテヤツテ居ルノダガ、今度又青年學校ト云フモノガ出來テ、更ニ又滿十九歲迄ヤラサナケレバナラヌト

云フコトニチタラ、是ハ出席率ガ非常ニ私
ハ惡クナルコト思フ、政府ノ方デハ義務
制ニシタノダカラ屹度ヤツテ來ルダラウ、又
土地ノ有志モ大ニサウ云フコトデ骨ヲ
折ツテ吳レルダラウ、又夜ハサウ云フヤウナ
仕事ニ關シテノ何カ理解ノアルヤウナ話ヲ
シテヤツタラ、喜ンデ來ルダラウ、或ハ通學
時間ヲ勞働時間ト看做シテヤレバ、ソレダケ
休メルノデヤナイカト云フヤウナコトハ、
是ハ私ハ失禮ナガラ中央カラノ机ノ上カラ
御覽ニナツテ居ル御意見デ、是ダケデ私ハ出
席率ハ良ク出來ナイト思フ、ドウモ文部大
臣ナドモ、モウ命令爲サツタラ必ズ國民ト云
フモノハソレデ服從シテ行クモノダ、斯ウ
云フヤウナ、軍隊デ將兵ニ對シテノ御命令
ト同ジヤウニ、ソレデ國民ガ、文部大臣ガ
命令ニナレバ直チニ青年學校へ行カナケレ
バナラスト云フ氣持ニナルト云フヤウニ思
ハレテ居ルコトハ、非常ニ遺憾ダト思フ、ダ
カラモウ少シ實情ニ即シテ、何トカ出席率
ヲ良クスルト云フコトニ一ツ考ヘテ戴キタ
イト思フ、先刻カラノ御話ダケデハ出席率
ハドウカト思フ、併シ是ハ意見ノ相意デゴ
ザイマスカラ、是以上ハ私ハ申上ゲマセ
ヌ、尙又大臣ガイラッシヤイマシタラ、此ノ事
ニ付テ伺ヒタイト思フ、ソレカラ次ニ伺ヒタ

イノハ、愈、是ガ本科ト云フモノガ出來マシニ、高等小學校デハ確カ千二百時間デゴザイマシタカ、一年ト二年トガ高等小學ガ出來マシタ場合カ一千二百時間デアツタカト思フ、ソレカラ青年學校ノ方ハ、普通科ガ一年ト二年トガ一年間デ二百十時間デシタカト思フノデスウテモ高等小學校ノ卒業生ト普通科ノ生徒デハ、學力ハ餘程ノ相違ガアル、ソレガ今度ハ本科ト云フモノニ入ッタラ、同ジヤウニ習ツテ行カナケレバナラヌ、是ハドウ云フ工合ニ教ヘテ行カレルノカ、餘程ヤリ方ガムツカシイノデナカラウカト思ハレル、マア東京デモサウ云フヤウニ言ハレテ居ルサウデスガ、ドウモ地方ナドデハ、高等小學ノ在學生ト云フモノハ學生ノ中デモ肩ダト云フヤウニ言ハレテ居ル、アレハモウ中等學校ヘモ進ムコトノ出來ナイ、家庭ノ都合カラ、又學力ノ劣ッテ居ル點カラ、體力ノ劣ッテ居ル點カラ、アレハモウ中等學校ヘ進ンデ行クコトガ出來ナイノデ、モウアレハ高等小學デ終ルヨリ仕方ガナイ子供達グト云フソレガ今度ハソレヨリモ劣ッタ、漸ク普通科デ二百十時間デスカ勉強シテ、サウシテソ

レガ上ツテ來テ、高等小學ヲ經タモノト同ジ
ナンデスカラ、サウ云フヤウナコトニナル
レマス、ドウモ田所サンノ居ラッシャル前
ノデスカラ、地方ニ依シテハ非常ニ僻ンデ居
ル、アレハモウ屑ナ人間ダトカ何トカ言ハ
ノデスケレドモ、ドウモ兒童ナドト云フチ
ノハ煽テ、……煽テルト言フト語弊ガアリ
マセウケレドモ、褒メテ、オ前ハ感心ナキ
ソダ、何ガ能ク出來ルト言ッテ、能ク出來ル
モノヲ殊更言ツテ、ソレヲ引立テ行ツテコ
ソ、其ノ學問ナリ何ナリガ進ンデ來マスケ
レドモ、アレハ屑ノ人間ダ、詰ラヌ人間ダ
子供ノ中デモ一番劣等ダト云フコトヲ言ハ
レタラ、ドウモ智能ナリ體力ナリ劣ラザル
ヲ得ナイヤウニナル、兎ニ角千二百時間ノ
人間ト二百十時間ノ人間ト同ジヤウニ竝シ
デ行クト云フコトハ、餘程ムツカシイト思
フノデスガ、何カ之ニ對シテモ御名案ヲ持ツ
テ居ラッシャルノデスカ、ソレヲ一つ……
○政府委員(小柳牧衛君)　只今ノ御質問ニ色
貴キ御意見ヲ伺ヒマシテ、誠ニ有難ク存
フコトニ付テ、直接ノ御體驗ニ基イテノ色
ズルノデアリマスルガ、私共ノ短イ體驗ニ

考慮シテ十分ニ其成績ヲ學ゲタイト、斯ウ云フヤウニ思ッテ居リマス、殊ニ映畫ノ如キシテ、映畫教育ハ益々能ク之ヲ利用致シマシテ、一面ニハ映畫ノ惡影響ヲ受ケナイヤウニ指導スルト同時ニ、一面ニハ學問修得ノ便ニソレヲ供スル方ガ一舉兩得デアルト、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、其ノ點ニ付テハ十分ニ考ヘテ實施シタイ、斯ウ云フヤウニ思ッテ居ル次第デアリマス、ソレカラ只今高等小學トソレカラ青年學校本科ノ關係ヲ御示ニナリマシタ、此ノ點ハ當局トシテモ非常ニ苦心シテ居ル點デアリマシテ、勿論一方ニ於テハ餘暇ノヤウニヤッテ居ルモノニアリ、一方ニ於テハ專念シテ居ル生徒デアリマスカラ、知識ノ點ニ於テハ、時間ノ點カラ考ヘマシテモ差ガアルノデヤナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、併シ青年學校ハ事新シク申ス迄モナク、實生活ニ即シテ、實生活避ケナケレバナラスト思ヒマス、從ツテ本カラ、單ニ知識ニ偏スルト云フコトハ極力來ル生徒ヲ比較シマスト、知識ノ點ダケ考ヘテ見マスト、或ハ高等小學ノ方ガ宜シ

イカ知レマセヌガ、實生活ニ即シテ、實業ニ從事シテ居ル者デシタラ、是ハ農業

業的ノ知識ヲ修得スルト云フ青年學校ノ趣旨カラ申シマスト云フト、必ズシモ非常ニ普シテ、映畫教育ハ益々能ク之ヲ利用致シマシテ、一面ニハ映畫ノ惡影響ヲ受ケナイヤウニ指導スルト同時ニ、一面ニハ學問修得ノ便ニソレヲ供スル方ガ一舉兩得デアルト、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、其ノ點ニ付テハ十分ニ考ヘテ實施シタイ、斯ウ云フヤウニ思ッテ居ル次第デアリマス、ソレカラ只今高等小學トソレカラ青年學校本科ノ關係ヲ御示ニナリマシタ、此ノ點ハ當局トシテモ非常ニ苦心シテ居ル點デアリマシテ、勿論一方ニ於テハ餘暇ノヤウニヤッテ居ルモノニアリ、一方ニ於テハ專念シテ居ル生徒デアリマスカラ、知識ノ點ニ於テハ、時間ノ點カラ考ヘマシテモ差ガアルノデヤナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、併シ青年學校ハ事新シク申ス迄モナク、實生活ニ即シテ、實生活避ケナケレバナラスト思ヒマス、從ツテ本カラ、單ニ知識ニ偏スルト云フコトハ極力來ル生徒ヲ比較シマスト、知識ノ點ダケ考ヘテ見マスト、或ハ高等小學ノ方ガ宜シ

イカ知レマセヌガ、實生活ニ即シテ、實業ニ從事シテ居ル者デシタラ、是ハ農業

ノ話ナドヲシタラ大變宜イノデスガ、色々千差萬別、生徒ガ色々ノ職業ニ從事シテ居ルノデアリマス、ソレガ皆ガ知ツテ居ルコトハ出來ナイグラウト思ヒマス、從ツテ今教授授ヲスル際ニハ知識ノ差ガアリマスカラ、細目ヲ考ヘテ居リマスルガ、ソレ等ノ點ハ非常ニ是ハ困難ダト思ヒマス、從ツテ今教授十分ニ考慮シテ、格段ノ注意ヲ以テ教授ニ當ルベキモノト、斯ウ考ヘテ居リマシテ、一層此ノ點ハ注意ヲ致シタイト存ズル次第デアリマス

○男爵紀後秀君 今ノ御話ハ一應御尤ダト思ヒマス、唯其ノ人間ガ銀行ナラ銀行ニ晝間働イテ居ル、夜間ノ青年學校デアリマシタラ、サウシテ夜ニナッテカラ又銀行ノ話ナンドヲ色々教ヘテヤル、サウスルトソレニ對シテ興味ヲ持ツジヤナイカ、斯ウ云フヤウナ御話デシタガ、是ハサウ云フ場合モアルダラウト思フ、處ガ是ハドウ致シマスカ、ノデヤナイカト、マア早ク申セバサウ云フヤウナ御話デシタケレドモ、高等小學デモ大抵私ハ實生活ニ觸レテ居ルトノデス、今ハモウ御承知デモゴザイマセウケレドモ、高等小學ノ一年二年ノ時ニハ春休デアルトカ、夏休デアルトカ云フヤウナ時ニハ、アツチノ商店ニ見習ニ行割合ニ月給ガ安イカラ、安イカラ悪イトハキマシタリ雇ハレマシタリ色々シテ、サウシテモウ高等小學ニ在學シテ居ル時カラ色々ノ職業ニ就キ、素地ヲ作ラス爲ニモウ實地ニ殆ドヤッテ居ルト同ジヤウナコトヲヤッテ居ルノデスカラ、何ント言ツテモ總テノ點カラ私ハ高等小學ノ方ガ優ツテ居ルノデヤ

スカラ、何ント言ツテモ是ハモウ兩方ノ者ガニアレバ宜シイガ、自分一人ダケ分ツテ大變面白イノデアリマスト、後ノ者ガ皆詰ラナイト云フコトニナル、餘程斯ウ云フ點ハ實地問題ニナツタラムヅカシイコトデヤナイカ、ソレカラシテ高等小學ナルモノハ、成ル程智力ノ點ニ於テハ豫科ヲ修得シタル者ヨリハ優ツテ居ルカモ知レナイ、併シナガラ實生活ニ觸レテ居ルノダカラ、其ノ點ニ付テハ差引勘定デ同ジオウナコトニナルノデヤナイカト、マア早ク申セバサウ云フヤウナ御話デシタケレドモ、高等小學デモ大抵私ハ實生活ニ觸レテ居ルトノデス、今ハモウ御承知デモゴザイマセウケレドモ、外ノ職務ナドニナリマシタラ、先刻申シタヤウナ云フヤウナ御話デシタケレドモ、高等小學デモ大抵私ハ實生活ニ觸レテ居ルトノデスカラ、サウ云フ教ヘルノノ時ニハ春休デアルトカ、夏休デアルトカ云フヤウナ時ニハ、アツチノ商店ニ見習ニ行割合ニ月給ガ安イカラ、安イカラ悪イトハキマシタリ雇ハレマシタリ色々シテ、サウシテモウ高等小學ニ在學シテ居ル時カラ色々ノ職業ニ就キ、素地ヲ作ラス爲ニモウ實地ニ殆ドヤッテ居ルト同ジヤウナコトヲヤッテ居ルノデスカラ、何ント言ツテモ總テノ點カラ私ハ高等小學ノ方ガ優ツテ居ルノデヤウナ人ニ依ツテ一番ムヅカシイ仕事ヲシテ行カナケレバナラスト云フノデアリマスカラ、此ノ青年學校ノ效果ヲ擧ゲルト云フコトニ

ハ、餘程骨ガ折レハシナイカ、是ハ少シ意見ノ相違ニナルカモ知レマセヌガ、私ハ恩フノデスガ、マア映畫教育ニハ大變御贊成下スッタノデスガ、映畫教育ハ、是ハモウ青年學校ハ殆ド映畫教育デヤラナケレバナラヌノデヤナイカト迄思フノデス、此ノ學科目ナドヲ拜見スルト、修身科ト云フモノガアリマスデスガ、是ハ修身科ト云フヤウナモノヲ青年學校ニ特ニ御置キニナル必要ガ、實ハアルデアラウカドウカト云フコトヲ思フノデス、公民教育ガ一つノ修身教育デス、又外ノ職業教育モ即チ一つノ修身教育デス、總テノ學科ヲ通シテ修身教育ヲスルヤウニシナイト、先生ガ教壇カラ單ニ修身ノ講義ヲシタ所デ、眠イ眼ヲ擦シテソレガ耳ニ這入ルモノノデアラウカ、既ニ國民教育デ基礎教育ハ修身デヤツテ居ルノガカラ、修身ト云フモノハ基礎教育デ澤山ダ、ソレヲ更ニスルノニハ映畫デ見セルトカ、或ハ他ノ學科ニ織込ンデヤルトカシテヤラナケレバ私ハ嘘ダト恩フ、此ノ修身科ト云フヤウナコトヲ御書ギニナツタケケデハ、是ハドウモノ失禮ナガラオ役人ト云フ者ハ斯ウ云フモノカナト云フコトヲ實ハ思ツタノデス、修身ハ修

云フコトガ相當問題ニナツテ居ル、ソレヲバ又青年學校ニ來テカラ、修身ノ學科ヲバ演壇カラヤレト言ッタツテ、ソレハモウ修得シ得ラレルモノヂヤナイノデス、併シソレガ映畫教育デ修身科ヲヤルノダト仰シヤルカモ知レマセヌガ、是ガナカ／＼ムヅカシイコトデ、是ガ修身映畫ダゾ、是ガ教育映畫ダゾト言ッテ生徒ニ御臨ミニナツタラ、其ノ映畫ト云フモノハ殆ド值打ノナイモノニナツテシマフノデ、是ハマア映畫法ガ出マシテカラ緩ックリ議論ヲ致シマスケレドモ、私ハサウ云フ工合ニ思ッテ居ルノデス、ダカラ是ハ餘程ムヅカシイ、青年學校ト云フモノヲヤルノハ餘程ムヅカシイ、先生ニ人ヲ得ルト云フコトガムヅカシイ、出席率ト云フモノガナカ／＼ムヅカシイ、生徒ノ種類ガ幾通リニモアルノニ、ソレヲ一纏メニスル、嘗テ申シタコトニ後戻リ致シマスガ、是ハ國民教育ノ義務制ヲ八年ニシテ、ソレカラ後ニ青年學校ニヤツタラ、私共ノ心配スルコトガ除カレル、併シ青年學校ヲ先ニシテ後カラ高等小學ヲヤル、是ハ文部大臣ハ十五年度カラヤルト言ッテ居ラレルガ、私ガ斯シナコトヲ申シタラ御ヤリニナラヌカモ知レナイト思フ、財政ヤ其ノ他色々ノ關係ガアルマセヌガ、恐ラク文部大臣ハ十五年度カラヤ

カラヤレナイト思フ、餘程大膽ナコトヲ仰
シヤッタガ、ドウニカシテ來年度迄ハ先ヅ
文部大臣ニ御留任願ハナケレバナラヌ、何
ントカ此ノ問題ダケニ付テモ文部大臣ニ御
留任願ヒタイト思ツテ居ル位デスガ、私ハ十
五年度ニハ此ノ國民教育ノナニガ、義務教
育延長ト云フコトハ如何ニモムヅカシイコ
トデヤナイカト思ヒマス、是カラ先ハ色々
意見ニナリマスカラ、此ノ程度ニシテ置キ
マス、次ニ私バカリデ甚ダ失禮デスケレド
モ、序デスカラモウ少シ伺ハシテ戴キマス、
此ノ間社會教育局長サンカラ、田所サンカ
ラノ御質問ニ對シテ大體ノ要項ヲ御説明戴
イタ時ニ御詫ヲ承ッタノ、デスケレドモ、チヨット
ト御伺ヒ漏シマシタノデ、モウ一遍恐縮デ
スケレドモ伺ヒタイノデス、國庫デ此ノ青
年學校ノ教育費ヲ補助ナサレマスル割合ハ、
十四年度ハドウ云フ割合ニナッテ居ルモノ
デセウカ、ソレカラ其ノ翌年カラハドウ
市町村デ持チマス費用、教費育ト、ソレカ
ラ國庫デ補助サレマスル割合ト、ソレヲ失
禮デスケレドモモウ一遍伺ヒタイ

昭和十四年度ニ於キマシテハ、先般申シマスルヤウニ四百三十萬圓ノ補助金ヲ計し致シマシテ、過日帝國議會ノ御協賛ヲ得タマニウナ次第デアリマス、此ノ四百三十萬圓ノ金額ハ、昭和十四年度ニ於キマスル所ノ專任教員ノ俸給ニ對シマスルト三割弱ニ相成ルノデアリマス、ソレカラ昭和十五年庫ニ於キマスル國庫補助ヲ計上致シマシタ基礎ハ、先般申上ゲタ通リニ從來ノ補助金ヲ基ト致シマシテ、昭和十四年度ニ於テ義務制實施ノ結果增加スベキ生徒數ヲ基本ト致シマシテ、之ニ要スペキ所ノ教員ノ俸給ト云フモノヲ推定致シマシテ、此ノ半額ヲ國庫ガ持ツト云フ、斯様ナ計算デ致シタノゾアリマス、今後義務制ノ進捗ニ伴ヒマシテ、教員モ増加シ又地方ノ負擔ヲ增大致スノゾアリマスルガ、之ニ伴ヒマシテ國庫カラノ補助金ガ逐次増額致サルベキ旨デゴザイマヌ、唯其ノ將來ノ補助計畫ニ付キマシテハ、義務制ノ實施ニ伴ヒマスル所ノ生徒ノ増加數ト云フヤウナモノガ、文部省ト致シマシテハ推定致シマシタ數字ヲ有シテ居ルノデアリマスガ、大藏省ト致シマシテハ、是等ノ實績ヲ少クシタイト云フ希望ガアリマス、又地方財政ノ改革ナルモノ毛行ハレルト云フヤウナ情勢モアリマシテ、計畫的ナ總括

的ナル所ノ數字ヲ此ノ際政府ノ數字ト致シ
マシテ、昭和十五年度以降大體斯ウナルト
ト致シマシテ稍々困難ナ狀況ニアルノデア
リマス、唯先程申上ゲマシタ昭和十四年度
ニ於キマシテ補助費ヲ計上致シマシタヤウ
ナ方法ト云フヤウナモノヲ基準ト致シマシ
テ、文部省ガ計算致シマスレバ、先般申上
ゲマシタヤウニ將來ニ於ケル國庫補助金ハ
千数百萬圓ニ達スルノデアリマシテ、斯ウ
云フ風ニナリマシタ場合ニ於キマシテハ、
少クトモ專任教員ノ俸給ニ對シマシテハ五
割程度ニハ達スルコトト考ヘルノデアリマ
ス、昭和十四年度ニ於キマシテ直チニ五割
程度ノ補助費ヲ計上スルノガ至當デハナイ
カ、是ハ御質問ニゴザイマセヌコトデ、大變
餘計ナコトヲ申上ゲルヤウデアリマスガ、
至當デハナイカト斯ウ云フ御議論モ十分ア
リ得ルノデアリマス、現ニ小學校ノ義務教
育費ニ付キマシテハ、大體年々増額シテ參
タノデアリマスガ、兎モ角今日ニ於キマシ
テハ教員俸給ノ略々半額ト云フモノヲ、大體
國庫カラ負擔致シテ居ルノデアリマスカラ、
此ノ先例カラ申シマシテモ青年學校ノ義務
教育ヲ布キマスル場合ニ於キマシテ、直チ
ニ教員俸給ノ半額ヲ國庫ガ負擔スルト云フ

コトヲ實現スルノガ至當デハナイカト云フ
議論ガ十分ニ立チ得、又サウ云フコトヲ要
トト考ヘルノデアリマス、唯併シナガラ現在
マセヌノデ、今日一擧ニ教員俸給ノ半額ヲ國
庫ガ負擔スルト云フコトヲ實行致シマスル
ト、結果ニ於キマシテハ全般ト致シテ地方
財政ガ、義務制實施ノ結果負擔が輕クナル
ト云フ結果ヲ生ズルノデアリマス、輕クナ
ルト云フコトハ固ヨリ不合理ノコトデハナ
イノデアリマシテ、青年學校ノ義務制ハ兎
角遅レ勝チナノデアリマシテ、斯クシテ生
じマシタ餘裕ヲ以チマシテ青年學校教員ノ
充實ヲ圖ルト云フコトハ、青年學校充實ノ
見地カラ申シマスレバ誠ニ望マシイコトデ
アリ、又十分理由アルコトト考ヘルノデア
リマスガ、國庫ノ現在ノ情勢カラ申シマシ
テ、斯クノ如キ餘裕ヲ生ゼシメルヤウナ方
法ニ依リマシテ、青年學校ノ補助費ヲ計上
致シマスルコトニ今日相當困難ナル事情ガ
アリマスルコトヲ、文部當局トシテモ十分
推察致サナケレバナラヌノデアリマス、斯
クノ如キ次第デアリマシテ昭和十四年度ニ
於キマシテハ、先程申上ゲマシタ程度ノ補

助率ニ相成ルノデアリマス、併シナガラ義
務制ノ實施ニ伴ヒマシテ生徒數モ增加シ、
之ニ伴ヒマシテ國庫ノ支出金モ漸次増額シ
テ参リマスノデ、其ノ點ニ於キマシテ逐次
トト考ヘルノデアリマス、唯併シナガラ現在
マセヌノデ、今日一擧ニ教員俸給ノ半額ヲ國
庫ガ負擔スルト云フコトヲ實行致シマスル
ト、結果ニ於キマシテハ全般ト致シテ地方
財政ガ、義務制實施ノ結果負擔が輕クナル
ト云フ結果ヲ生ズルノデアリマス、輕クナ
ルト云フコトハ固ヨリ不合理ノコトデハナ
イノデアリマシテ、青年學校ノ義務制ハ兎
角遅レ勝チナノデアリマシテ、斯クシテ生
じマシタ餘裕ヲ以チマシテ青年學校教員ノ
充實ヲ圖ルト云フコトハ、青年學校充實ノ
見地カラ申シマスレバ誠ニ望マシイコトデ
アリ、又十分理由アルコトト考ヘルノデア
リマスガ、國庫ノ現在ノ情勢カラ申シマシ
テ、斯クノ如キ餘裕ヲ生ゼシメルヤウナ方
法ニ依リマシテ、青年學校ノ補助費ヲ計上
致シマスルコトニ今日相當困難ナル事情ガ
アリマスルコトヲ、文部當局トシテモ十分
推察致サナケレバナラヌノデアリマス、斯
クノ如キ次第デアリマシテ昭和十四年度ニ
於キマシテハ、先程申上ゲマシタ程度ノ補

ト云フモノヲ毎年交付サレルコトニナシタ、
召ハ宜イノダガ、ソレヲスルト云フコトニ
ソレデ今衆議院ナドモ論議サレテ居リマ
スガ、遊興稅ヲ國稅ニ取上ゲル、斯ウ云フ
コトニナルト、其ノ代リニ又地方財政補給
地財政ノ負擔モ漸次増加シテ参リマス、
之ニ伴ヒマシテ國庫ノ支出金モ漸次増額シ
テ参リマスノデ、其ノ點ニ於キマシテ逐次
トト考ヘルノデアリマス、唯併シナガラ現在
マセヌノデ、今日一擧ニ教員俸給ノ半額ヲ國
庫ガ負擔スルト云フコトヲ實行致シマスル
ト、結果ニ於キマシテハ全般ト致シテ地方
財政ガ、義務制實施ノ結果負擔が輕クナル
ト云フ結果ヲ生ズルノデアリマス、輕クナ
ルト云フコトハ固ヨリ不合理ノコトデハナ
イノデアリマシテ、青年學校ノ義務制ハ兎
角遅レ勝チナノデアリマシテ、斯クシテ生
じマシタ餘裕ヲ以チマシテ青年學校教員ノ
充實ヲ圖ルト云フコトハ、青年學校充實ノ
見地カラ申シマスレバ誠ニ望マシイコトデ
アリ、又十分理由アルコトト考ヘルノデア
リマスガ、國庫ノ現在ノ情勢カラ申シマシ
テ、斯クノ如キ餘裕ヲ生ゼシメルヤウナ方
法ニ依リマシテ、青年學校ノ補助費ヲ計上
致シマスルコトニ今日相當困難ナル事情ガ
アリマスルコトヲ、文部當局トシテモ十分
推察致サナケレバナラヌノデアリマス、斯
クノ如キ次第デアリマシテ昭和十四年度ニ
於キマシテハ、先程申上ゲマシタ程度ノ補

レナイ額ダケハ地方ガ負擔ヲシテ行カナケ
レバナラヌ、ダカラ是ハ何トカシテ全額支
辨サレルト云フ方法ヲ、御執リニナレヌモ
ノデアラウカ、是ハ地方財政ノ豊ナ時ニ出
來タ小學校ノ義務敎育費ト、大分私ハ趣ガ
違フト思ヒマスガ、是ハ或ハ大臣ニ伺フベ
キデアルカ知レマセヌガ、併シ政務次官
モイラッシヤルカラ、何トカ考ヘルコトハ
出來ナイモノデアラウカ、是ハ衆議院デ
モ大分意見ガ出タヤウニ思ヒマスガ、是
ハ私ガ申シタ所デ行ハレルモノデモナイケ
レドモ、併シナガラソレハ考ヘルノガ當然
ナコトデナイカト思フノデス、ソレカラ
段々ト補助率ヲ殖シテ行クト、斯ウ云フヤ
ウナ御話ニ今伺タノデスケレドモ、今此ノ
補助率ハ殖シテ行ク考ダト仰シヤッテモ、斯
ウ云フヤウナ法律デアリマシタラ、是ハ減
カラ増ス積リダト云フコトデ、大臣ガ豫算
ラスコトモ出來ルノデ、土木費ナドデモ能
クアルコトデ、必ズソレダケヤル、翌年度
カラ増ス積リダト云フコトデ、大臣ガ豫算
委員會ナドデ御言明ナサッテモ、次ノ議會ノ
時ニ豫算ヲ見ルト、繰延ベラタリ減額サ
レタリスルコトガ往々アル、減ルト云フコ
トガアル、スルト是ハ大變私ハ不確カナ法律
デナイカト思フ、政府ガ増スト言ッテモ、又

シナイ、屹度増スト云フ御考デ仰シヤツテ居ナドガ色々迭リマスト、毎年是ダケノ金額ハ豫算デ支出スルト云フコトニナツテ居リ處カヘ、今年ノ額ヨリハ減額セズト云フヤウチ意味ノコトヲ入レルコトハ出來ナイモノデセウカ、ソレデ一ツ「スタンプ」ヲ捺シテ置カヌト危イモノグラウト思フ、併シナガラソレハ増スヤウニナツテ居ルノダガ、オ前ノ方ノ法文ノ讀ミ方ガ惡イノダト言ハレ、バサウデスガ、ソレハ文部省デ御考ニナツテモ、大藏省へ行ツテカラ減ラサレルカモ知レヌ、ダカラ是ハ半額以上ハ必ズ補助スル、ソレ以下ニハ決シテ減ラサヌト云フコトヲ、今度初メテ法律ガ出ル時ニ、何處カニ書クコトハ出來ナイモノカ、私ハ全額ヲ支給スペキモノト思フ、國ノ財政ガツライト言フガ、ト云フコトニナルノデ、是ハ地方財政ハ確カニ窮迫シテ居リマス、官吏ハ匹當ノ數ヲ増シテ居ルケレドモ、公吏ハ増スコトガ出来ナイ、其ノ位窮迫シテ居リマス、ドウシテモ之ヲ全額、ト言ツテモ出來ル筈ハナイノ

法律デハ毎年豫算ニ組メルノダカラト言
テモ、豫算ヲ減ラサルト云フ憂ガアルノデ
スガ、何トカサウ云フコトノ出來ナイコト
ヲ、何カ法文ノ中ニ御加ヘニナレバ、今仰
府ハ減ラサウト云フ御考ハ決シテ持ツテ居
ラシシヤラナイノデスカ、之ニ對シテドンナ
モノデゴザイマスカ

○政府委員(田中重之君) 私カラ一應申上
ゲマス、此ノ法律ニ於キマシテ非常ニ不確
カデハナイカ、デアルカラ豫算ノ中ニ少クタ
トモ現在ノ程度ニ書クノガ宜イデハナイカ
カ、斯ウ云フ御話デアルノデゴザイマスカ
ガ、先程御話申上ダマシタ通り昭和十四年
度ノ豫算ト申シマスノハ、昭和十四年度ニ
於キマシテ新タニ義務制ノ結果、義務ヲ強
制セラレルモノト推定セラレル者約十萬六
千人程ノモノヲ標準ト致シマシテ此ノ金額
ガ計上サレテ居ルノデゴザイマス、青年學
校ノ義務制ハ申ス迄モナク本體ハ本科ニア
ルノデゴザイマシテ、普通科ハ謂ハバ其ノ
前提程度ニ過ギナイモノデゴザイマス、從
テ文部省當局ト致シマシテハ、四百三十萬
圓程度ノ昭和十四年度ノ豫算ト云フモノガ
此ノ青年學校義務教育ヲ遂行シテ行ク上ニ

實ハ初メカラ考ヘテ居ラナインデゴザイマシテ、従ツテサウ云フモノヲ豫算ノ上ニ掲ゲテ置クト云フコトハ、實ハ凡ソ考ヘテ居ラカツタノデゴザイマス、併シソレサヘモ減ラサレル虞ガアルノデハナイカ、ダカラソレヲ書イテハドウカト云フ御話デゴザイマシテ、ソレハサウ云フコトモ考ヘラレルコトト思フノデアリマスガ、當局ト致シマシテハ四百三十萬圓程度ノ此ノ金額ト云フモノガ、青年學校教育補助ノ一ツノ基準ニナルモノトハ實ハ思ツテ居ラナインデアリマス、然ラバ將來ドウ云フ風ノ見透シデ居ルカ、ソレヲ一ツ理想ヲ掲ゲテ置イタラ宜イデハナイカト云フ御考ノヤウニ拜察致シタノデアリマスガ、私共モ實ハサウ云フコトヲ考ヘルノデゴザイマス、併シナガラ先程申上ゲタヤウナ次第デゴザイマシテ、將來ノ具體的ノ數字ニ付キマシテハ、尙相當實況ノデ、大變法文ト致シマシテハ整ハザル、不十分ナル點ガアルノデゴザイマスケレドモ、斯ウ云フ原案ヲ以チマシテ御審議ヲ御願ヒ申上ゲマシタヤウナ次第デゴザイマス○異議紀發秀君　此ノ問題ハ又他日ニ譲リマシテ、厚生省ノ方ガ居ラシシヤルト大變

宜ノノデスガ、或ハ話ノ模様ニ依リマシテ
厚生省ノ御方トモ御話シテ見タイト思フノ
デアリマス、常識カラ考ヘマシテ、ドンナ
ニ興味ノアル教育ト致シマシテモ、何デゴ
ザイマシテモ、働イタ後デ又勉強ヲサス、
或意味ニ於テハ働くセモスル、斯ウ云フコ
トニナルノデスガ、ドウモ是ハ常識カラ考
ヘテ、ドウシテモ體位ノ向上デナクシテ、
體位ノ低下ニナリハシナイカト云フ虞ヲド
ウモ私ハ持ツノデアリマス、一昨日政府委
員ノ御説明ノ中ニ、青年學校ヲ卒業シテ兵
士トナツク者ハ、他ノ者ニ較ベルト餘程優秀
ナモノガ多イト云フ御説明デアリマシタ、
是ガ青年學校ヲ義務制ニシタ一つノ理由ノ
ヤウニモ承ッタノデアリマス、是ハ昨年ノ議
會ニ前陸軍大臣ノ杉山サンガ、私ノ質問ニ
對シテモ其ノ御答ヲナサツタコトガアル、併
シソレハ餘程私ハ考ヘテ戴キタイト當時モ
申シタ、畫働イテ夜又勉強シヨウト言ッテ、
ラレルヤウナ青年デアルノダカラ、體格ニ
テ、一生懸命勉強シテ、オ終ヒ迄卒業シ得
モ、ソレダケニ伸ビ得ラレルダケノ智力ヲ
持ツテ居ラレル、方デアルカラ、モウ既ニ其ノ
素質ガ良イカラ、ソレデ兵ニナッテモ良イノ

デ、青年學校ニ入ッタカラ良イト云フヨリハ、寧ロモウ青年學校ニ入ル前カラ良イ體格ニナッテ、智力モ進シテ居マテ、サウシテ居ル位デ、素質ガ良イノデ、是ハ青年學校ニ入ッタカラト云フコトノミヲ考ヘルコトハ出來ヌト私ハ杉山サンニ反駁シタ、ソレニ付テハ杉山サンモ御答ガナカッタ、私ハサウ今デモ思ッテ居リマス、素質ガ良イ、初メカラ素質ガ良イノデ、青年學校ハ別ニ問題デヤナイト私ハ思フ、是ハモウ働くイタ上ニ又働くノデスカラ、是ハドウシテモ常識カラ考ヘテ私ハ體位ノ向上ニナラヌモノト思ヒマス、青年學校ハ大概今迄デモサウデスガ、今後ト雖モ大概小學校ニ併設サレルデハナイカト思フ、小學校ニ併設サレルコトニナリマスト、小學校ハ御承知ノ通り十四歳……十四歳ト申シマシテモ十四歳以下ノ兒童デモ、其ノ體格ニ適スルヤニ机カラ椅子カラ總テ出來テ居ル、ドウモ働くイタ揚句ニ勉強ニ來テ、子供ノ机、子供ノ椅子ニ掲ケテ窮屈ニ又夜勉強ヲスル、モウ働くトシタイヤウナ所ヲ、今度ハ子供ノ椅子、子供ノ机デ縮カマツテ勉強ヲスルト云フヤ

ウナノハ、隨分是ハ骨ノ折レルコトデハナ
イカ、サウ云フヤウナ點カラ働イタ揚句ニ
働ク、サウシテサウ云フ工合ニ、何ト言フ
カ小サクナツテ勉強スルト云フヤウナコト
ダケ考ヘテモ、是ハドウモ體位ガ低下スル
ニアラウ、目的ハ青年學校デ勉強サセレバ、
十九歳迄ニハ實ニ立派ナ心身共ニ發達シタ
者ガ出來ル、斯ウ仰シヤルコトハ仰シヤル
ケレドモ、ソレハ又ソレデ理想ニナツテ居
リマスケレドモ、事實ハソレニ反スルノヂ
ヤナイカ、此ノ點ニ對シテハ文部當局ハド
ウ云フ工合ニ御考ニナツテ居ルデセウカ、是
ハ厚生省ノ方ニモ一ツ伺ツテ見タイト思ヒ
マス

リマス、從ツテ所謂職業病ト謂ハレテ居ルノ職業ニ於テ、ソレヲ矯正スルヤウナモノニ於テ、ニ於テ實驗スル所デアリマスガ、大體ニ於テノ職業ニ因リ來ル所ノ弊害ヲ防イデ、體位ノ向上ニナルノデハナイカ、能ク壯丁検査ニ於テ實驗スル所デアリマスガ、大體ニ於テ例ヘバ理髮業ニ從事シテ居ル者ノ體位ハ亞イヤウデゴザイマス、デ青年學校ニ於キマシテモ此ノ點ガ能ク問題ニナルノデアリマシテ、理髮業者ヲ適當ノ時間ニ集メテ、サヘシテ青年學校ノ教育ヲ施シマスルト、非常ニ體育上好結果ヲ現シテ居ル實例モ我タハ耳ニスルノデアリマス、斯様ニ致シマシテ、青年學校ニ於ケル體育ヲ施ス場合ノヤリ方ニ依ツテ、十分ニ今ノ目的ヲ達シ得ルノデハナイカト斯ウ考ヘテ居リマス、併シ勿論一面ニ於テハ過勞ニ屬スルト云フヤウナ點モ考ヘナケレバナリマセヌ、又今御示ノヤウニ從來ノ義務制デナイ青年學校ニ於テハ、其ノ疲労ニ堪ヘテ通學スルダケノ壯健ナ者ノミ來タト云フ見方モ、私ハ御尤ト存ジマスガ、將來義務制ニナリマスレバ、體育ヲ施ス際ニ、日常ヤツテ居ル所ノ職業等ヲ十分ニ考慮ニ入レテ、サウシテ適切ナル

○男爵紀俊秀者

大分伺ヒタイコトガアリ

マスケレドモ、文部大臣ガ御出席ニナリ
マシタラ、或ハモウ一度申サナケレバナラ
スカト思ヒマスカラ、私ハ大體此ノ程度デ
措キマシテ、サウシテ更ニ又大臣ノ御出席

ニナリマシタ時ニ、或ハ場合ニ依ッテ厚生省
カラモドナタカ御出ヲ願ッテ、或ハ大藏省カ
ラモ御出ヲ戴クト云フコトニシマシテ、兎
ニ角只今ハ此ノ程度ニシテ置キタイト思ヒ
マス

○田所美治君

一二御伺ヒ致シタイノデア

リマスガ、紀男爵ガ色々御自身ニモ御關係
ニナッタリ、又此ノ青年學校ダケデヤナシニ、
地方ニ平常御住ヒニナッテ、市町村ニ於ケル
教育關係ニハ御自身御體驗ノコトハ始終知ッ
テ居リマシタガ、青年學校ニモ御關係ガア

ルト云フノデ、私共ノ御尋ネハ……先程私
ノ名前モ御引キニナリマシタガ、私共ハ机
上デ唯考ヘテ居ルダケナンデアリマスガ、
大變ニ適切ナ御教ヲ受ケタ譯デアリマス、
修身科ノコトト云ヒ、映畫教育ト云ヒ、其
ノ他ノ御話、誠ニ御尤ニ存ジマス、必ズ當
局ニ於キマシテモ矢張リ同様ナ、サウ云フ
方面ニ付テハ考ヘテ施設準備ヲシテ居ラレ
ルコトト私ハ確信致シマス、ソレデ今度ノ
青年教育ヲ義務ニスルト云フコトヲ紙上デ、

法律ノ上デ讀ンデモ、マサカ明治ノ初年ニ
義務教育ヲ布キマシタ時分ノヤウナコトハ
シテ居ル青年學校デアリマスカラ、サウ云
フコトモアリマスマイケレドモ、此ノ間
モ伺ツタ通り是ハ唯義務教育トハ稱スルケレ
ドモ、其ノ實行ハナカノ十數年ノ後デナ
ケレバ、完全ニハ行ハレヌト云フコトデハ
イカヌト思フ、就學獎勵ニ付テハ非常ナ配
慮ガ要ルト云フ意味デ此ノ間計畫ヲ伺ツタ

ノデアリマスガ、私モ其ノ點ニ付テハ紀男
爵ト同様ニ非常ニ憂ヘテ居リマス、唯依頼
スル所ハ、日本人ガ子弟ノ教育關係ニ付テ
ハ非常ニ深甚ナ配慮ヲ以チマシテ、貧乏者
モ機會均等ト云フコトデ、金持ノ子供ニ劣
ラヌト云フコトデ學校ニ入レルコトハ、汲
汲トシテ努メルノデアリマスカラ、ソレガ
唯一ノ制裁ナクシテ、義務教育ノ制度モ青
年學校ニ付テハ矢張リ相當行ハレルモノト
思フ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルヤウナ譯デ
ゴザイマスガ、餘程面倒デアリマセウガ、
其ノ點ニ付テ當局ノ御調ガアレバ願ヒタイ
ノハ、教育審議會アタリノ答申ノ條項ニモ
關聯シマスガ、今日御尋ニナッタ色々ノ點
ハ、審議會デモ皆論及シタ點デモアルヤウ
ニ思ハレマスガ、就學獎勵ニ付テハ特ニ二

三項ヲ決議シテ居ルコトハ當局モ御承知ノ
通リデアリマス、先以テ伺ヒタイノハ、雇

傭者が就學義務ヲ獎勵シ、ソレニ便宜ヲ與
ヘ、其ノ實行ヲ督促スル、斯ウ云フ地位ニ、
父兄ニ代ツテ、父兄、保護者ニ代ツテ立ツ譯ナ

ンデアリマスカラ、雇傭ノ場合ニ於キマシテ
ハ、其ノ義務ハドウ云フヤウニ積極的ニ義務
ヲ負ハセマスカ、消極的ノ方デ言ヘバ邪魔セ
ス、行ケ、行ケバ其ノ時間ハ、今ノ厚生省ノ社
會法律ニ依ツテ就業時間ノ中ニ加ヘテヤル、
或ハ給料モ相當ニ無論ヤラウ、斯ウ云フコト
ニナルグラウト思ヒマスガ、サウ云フコトデ
スル所ハ、日本人ガ子弟ノ教育關係ニ付テ
ハ非常ニ深甚ナ配慮ヲ以チマシテ、貧乏者
モ機會均等ト云フコトデ、金持ノ子供ニ劣
ラヌト云フコトデ學校ニ入レルコトハ、汲
汲トシテ努メルノデアリマスカラ、ソレガ
唯一ノ制裁ナクシテ、義務教育ノ制度モ青
年學校ニ付テハ矢張リ相當行ハレルモノト
思フ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルヤウナ譯デ
ゴザイマスガ、餘程面倒デアリマセウガ、
其ノ點ニ付テ當局ノ御調ガアレバ願ヒタイ
ノハ、教育審議會アタリノ答申ノ條項ニモ
關聯シマスガ、今日御尋ニナッタ色々ノ點
ハ、審議會デモ皆論及シタ點デモアルヤウ
ニ思ハレマスガ、就學獎勵ニ付テハ特ニ二

イ國民ニ對シテハ、既ニ小學教育ニ付テモ
數十年間サウ云フ制裁ナシニ、法律上ノ裁

制ナシニ、罰則ノ制裁ナシニヤツテ居ルコト
デアルカラ、是ハ成ルベク此ノ美風ヲ、矢
張リ青年學校ノ義務ニ付テモト云フコトデ、
ソレハ創ラレテ居ルヤウニ記憶シテ居ルノ
デアリマスガ、サウスレバ、今ノ唯社會立
法ノ上ニ付テノ一二ノ就業時間ニ付テ加ヘ
テヤルトカ、俸給ヲ加ヘテヤルトカ云フ位
デハ、ドウモ無論物足ラヌト考ヘルノデアリ
マスガ、何カ雇傭者ニ對シテ積極ニ義務屬
行ノコトニ付テ、御考ニナッテ居ル點ガアレ
バ其ノ條項モ伺ヒタイ、ソレカラ學務委員
会ノ代ツテ督促ヲスルト云フコトニ付テハ、
兄ニ代ツテ督促ヲスルト云フコトニ付テハ、
ナツタ條項ガアレバ、矢張リ此ノ會デモ
シテ審議會カラ其ノ邊ニ付テ能ク者究シテ
適切ナ方法ヲ講ジロ、斯ウ云フコトヲヤッテ行ク、斯
伺ツテ見タイヤウニ思ヒマス、是ハ當局ニ對
ウ云フコトデアリマシダガ、ソレ等ニ付テ
モ唯學務委員ヲ置クト云フコトダケデハナ
ウ云フ風ニ御負ハセニナリマスカ、元々是
致スヤウデアリマスカラ、雇傭者ノ就學獎
勵ニ對シマシテ、積極ニナスベキ義務ヲド
ウ云フ風ニ御負ハセニナリマスカ、元々是
ハ私ハ承知致シテ居リマスガ、雇傭者ノ場
合ニモ制裁ヲ加ヘテ迄強行シヨウト云フコ
トデアリマシタモノヲ、日本ノ向學心ノ厚
ニ適切ナ條項ヲ御調ニナシタコトガアレバ、

合ニモ制裁ヲ加ヘテ迄強行シヨウト云フコ
トデアリマスガ、何カ學務委員ノ職務規
則ハ小學校ヨリムツカシイノデアリマス、
カナカ全キヲ得ナイグラウト思ヒマスガ、
何カ學務委員ノスベキ職務、青年學校ニ付
テハ小學校ヨリムツカシイノデアリマス、
定ト云フヤウナモノニ付テ、特ニ青年教育、
紀男爵ノ御話ニナッタヤウナ點ガ多々アル

是モ一ツ伺ッテ見タイト思ヒマス、ソレカラ
兒童ソレ自身ニ付テハ、是ハ普通科ノ方ハ
マダ單純デ宜ウゴザイマス、高等小學ニ入
ラヌ兒童ガ行ク譯デアリマスカラ、十萬、
十一萬ト云フ御計算デアルヤウデアリマス
ガ、高等小學ヲ卒業シテカラ、是ハ明後年
カラ實施サレマスガ、今日ト雖モ獎勵ハ無
論シナクチヤナラヌ、義務ニナリマセヌ、
獎勵ハ國家トシテシナクチヤナラヌ、此ノ
點ガナカ／＼困難グラウト思フノデアリマ
ス、サッキ紀男爵ノ質問ノ中ニモアリマシタ
通り、却テ工場ハ休ムケレドモ、學校へ行
カナイデ映畫館へ行クテ遊ンデ居ルトカ、酒
ヲ飲ンデ居ルト云フヤウナ譯ノ話モナイデ
ヤナイ、出席率が惡イ、斯ウ云フコトモア
ルデスカラ、其ノ出席ヲ獎勵シ、就學ヲ獎
勵スルコトニ付テハ、兒童ニ付テモ御配慮
ガアルダラウト思フノデアリマス、本科グ
ケデナイ、普通科ニ付テモ無論アルコトデ
アルト思フノデアリマスガ、何カ其ノ點ニ
付テ御工夫ハアリマセヌカ、即チ社會ニ或
ハ工場ヘ歸ッタ場合ニ、チヤント學校へ行ツ
テ居ルト云フ「バッヂ」ノヤウナ、章票ノヤウ
ネモノデモ御與ヘニナルトカ、ソレニ依ツテ
工場ハ又待遇等ニ付テモ考ヘルト云フヤウ
ニ、工場トノ連絡ト云フヤウナ點迄モ、細

カク一ツ御考ニナラヌト云フトイカヌ問題
ナックタコトガアレバ、兒童自身就學ニ向フ獎
勵ノ方法等ニ付テ御考ニナックタコトガアリマ
スカ、マダアリマセウガ、之ヲ要スルニ私
ノ云フ就學ヲ實行シテ、其ノ效果ヲ擧ゲル
ト云フコトニ付テ御工夫ニナッテ居ル點、今
日迄御調ニナッテ居ル點ガアレバ、ドウ云フ
機關ヲドウ云フ風ニヤラレルカ、又兒童ニ
付テハ斯ウ云フ獎勵方法ヲ執ルト云フコト
ガ伺ヘマスレバ伺ッテ置キタイ、是迄ハ兵役
關係ガ、是ハ皆様モ御承知ノ通り六箇月ノ
特典ガアリマシタ、青年學校ヲ卒業シタ者
ハ二年ノ兵役ヲ一年半デ宜シイ、斯ウ法律
ガ特典ヲ與ヘテ居リマシタ爲ニ、之ガ爲ニ
翕然トシテ農村ヲ初メ商工都市ニ於キマシ
テモ、青年ハ青年學校ニ入學シテ居ル者ガ、
非常ニ影響ヲ受ケテ居ツタノデアラウト思
トニナリマスカラ、餘程其ノ間ニ工夫ガ要
ルダラウト斯ウ考ヘルノデアリマス、固ヨ
リ自分ノ學力モ殖エルシ、人物モ向上スル
シ、文化ノ上カラ國家全體ノ上カラ言ヘバ
此ノ上ナイ仕合セデアリマスガ、個人個
人ノ場合ニ付テハ、ナカ／＼督勵ガ因

難デアラウト思ヒマスシ、其ノ邊ニ付テ
モ今ノヤウナ點ハ深甚ニ私ハ心配致シ
マスカラ伺ッテ置キタイ、ソレカラ是
トヲ紀男爵ガ度々御話デアリマスガ、夜間
ノ學校モナカ／＼アルヤウデアリマス、此
ノ表ヲ見テ見マスト、是ハ今度ノ審議會等
ニ於キマシテハ、疲勞ヲ標準ニスル其ノ考
ノ基ク所ハ、矢張リ夜ハ疲レテ居テ十分ノ
コトハイカヌカラ、此ノ趣旨カラ晝間ヲ以
テ本則トスル、已ムヲ得ザル場合、特別ノ
事情アル場合ハ夜間ヲ許スト斯ウナッテ居
リマスガ、今夜間ノアリマス學校ハ晝ノ疲
リノ影響、殊ニ工業方面ニ行クテ居ル青年等
ニ付キマシテハ、當局ハドウナサル御積リ
デアリマスカ、晝間ニ變更ヲセシムルト云
フ位ノ御考デアリマスガ、是モ補助ヲ與ヘ
テ實效ヲ擧ゲルト云フコトニ付テハ、其ノ
邊迄モ御進ミニナッテ宜カラウカト思フノ
デアリマスガ、可ナリ夜間ノ學校モアルヤ
ウデアリマスカラ、二千カ三千位アルヤウ
レバナラヌ、斯ウ云フコトヲ決議シテ居ル
次第デアリマス、最高時數ヲ定メナケ
直シニナルト云フヤウナコトノ御考ガアル
カ、サウスレバ紀男爵ノ杞憂ノ一半ハ取レ
ヤウト思フ、晝二十時間勤ク所ヲ二時間學

校ニ行クト斯ウナレバ、疲勞ノ點ニ付キマ
シテモ少クテ宜イ、少クトモ工業地方等ニ
於キマシテハ、マア農業ノ方ハソレ程銳ク
モ矢張リ關聯スルコトデアリマスガ、夜間
ノ學校デハ晝疲レテ居ルカラ云々ト云フコ
トヲ紀男爵ガ度々御話デアリマスガ、夜間
ノ學校モナカ／＼アルヤウデアリマス、此
ノ表ヲ見テ見マスト、是ハ今度ノ審議會等
ニ於キマシテハ、疲勞ヲ標準ニスル其ノ考
ノ基ク所ハ、矢張リ夜ハ疲レテ居テ十分ノ
コトハイカヌカラ、此ノ趣旨カラ晝間ヲ以
テ本則トスル、已ムヲ得ザル場合、特別ノ
事情アル場合ハ夜間ヲ許スト斯ウナッテ居
リマスガ、今夜間ノアリマス學校ハ晝ノ疲
リノ影響、殊ニ工業方面ニ行クテ居ル青年等
ニ付キマシテハ、當局ハドウナサル御積リ
デアリマスカ、晝間ニ變更ヲセシムルト云
フ位ノ御考デアリマスガ、是モ補助ヲ與ヘ
テ實效ヲ擧ゲルト云フコトニ付テハ、其ノ
邊迄モ御進ミニナッテ宜カラウカト思フノ
デアリマスガ、可ナリ夜間ノ學校モアルヤ
ウデアリマスカラ、二千カ三千位アルヤウ
レバナラヌ、斯ウ云フコトヲ決議シテ居ル
次第デアリマス、最高時數ヲ定メナケ
直シニナルト云フヤウナコトノ御考ガアル
カ、サウスレバ紀男爵ノ杞憂ノ一半ハ取レ
ヤウト思フ、晝二十時間勤ク所ヲ二時間學
メル金額、ソレヲ矢張リ紀男爵ガ御心配ニ

ナツテ四百八十餘萬圓ヨリ減ッテ來ヤセス
カ、是デハサウナルノデアリマス、仍テ補
助費ノ減額ナゾニ付キマシテハ金額ヲ定メ
タノモアリマスシ、或ハモウ増スモノヲ、
半額補助スルトカ、三分ノ一補助スルトカ
云フコトヲ規定シテ居ルモノモアリマスガ、
其ノ邊ハ此ノ時局ノ關係デ見込ガ立タヌト
云フ御考カラノ御説明ガアリマシタヤウデ
アリマスケレドモ、是ハ義務制度ヲ行フ以
上、ドウシテモ相當ノ増額ノ覺悟デナケレ
バナラヌ、豫算ニ千數百萬圓トアリマスガ、
此ノ位デ間ニ合ヒマスレバ、全額デナイ半
額位ナラバ……此ノ計畫デアルト千數百萬
圓ト云フコトニナリマスガ、其ノ位デ濟ム
コトニナレバ大シタコトハナイ、數年後ニ
實行ガ出來ルト思フノデアリマス、今度才
費ノ補助ハ植エ居リマスガ、市町村費ヲ
ソレニ對シテドノ位增加致シマスカ、是モ
ニ充テシメル爲市町村ニ交付シテ居リマス
ガ、私立ノモノニドウナルノデアリマスカ、
私立ノモノガ澤山アリマス、青年學校ニ、
其ノ他ニモ是ハ補助ガ行ク譯デアリマス、
其ノ邊ニ付テ、以上伺ッテ置キマス。

○政府委員(田中重之君) 最初ノ御尋ノ履

主ニ對シテ、何カ就學ニ關シテ積極的ナ義
務ヲ課スル制度ヲ考ヘテナイカ、サウ云フ
シテ實ハ種々考究致シマシテ、雇主ニモ何
等カ積極的ナ、法制的ナ義務ヲ課シテヤルト云
フコトヲ以チマシテ研究ヲ致シタンデアリマ
ス、併シナガラ色々當局ノ研究又關係方面ト
ノ折衝ノ結果、積極的ナモノヲ附課致シマス
ルコトハ非常ニ困難ナ點ガゴザイマシテ、結局
只今當局ガ考ヘテ居リマスルコトハ、先程
御質問ノ中ニゴザイマシタ雇傭主ハ青年學
校ノ生徒ノ就學ヲ妨げテハイケナイ、而シテ
青年學校ノ生徒ガ就學スル場合ニ於テハ、
其ノ就學ニ要スル時間ハ勞働時間ト見ル、
斯ウ云フヤウナ規定ヲ大體作リタイ、斯ウ
云フヤウナコトニ相成ツタノデゴザイマス、
制度ト致シマシテハサウ云フコトニ相成ツ
テ今考ヘテ居ルノデアリマスルガ、此ノ青
年學校ノ就學ヲ十分ナラシメル爲ニハ、何
ト申シマシテモ雇傭主ニ積極的ナル理解ト
云フコトヲ必要ト致シマスルノデ、此ノ點
一應伺ッテ置キマス、モウ一つハ俸給、手當
ニ充テシメル爲市町村ニ交付シテ居リマス
ガ、私立ノモノニドウナルノデアリマスカ、
私立ノモノガ澤山アリマス、青年學校ニ、
シテ、又青年學校ノ有ツ國家的ノ意義ト云
フモノヲ十分理解シテ貰ヒマシテ、當局ト
致シマシテハ雇傭主ニ積極的ニ此ノ點ニ理

解ヲ持チ、協力致シマスルヤウニ十分ニ努
カス、此ノ點ニ關シマシテハ當局ト致シマ
ス、此ノ點ニ關シマシテハ、サウ云フ御考ヘ
テナイカ、サウ云フ御尋ノヤウデアリ
シテ實ハ種々考究致シマシテ、雇主ニモ何
等カ積極的ナ、法制的ナ義務ヲ課シテヤルト云
フコトヲ以チマシテ研究ヲ致シタンデアリマ
ス、併シナガラ色々當局ノ研究又關係方面ト
ノ折衝ノ結果、積極的ナモノヲ附課致シマス
ルコトハ非常ニ困難ナ點ガゴザイマシテ、結局
只今當局ガ考ヘテ居リマスルコトハ、先程
御質問ノ中ニゴザイマシタ雇傭主ハ青年學
校ノ生徒ノ就學ヲ妨げテハイケナイ、而シテ
青年學校ノ生徒ガ就學スル場合ニ於テハ、
其ノ就學ニ要スル時間ハ勞働時間ト見ル、
斯ウ云フヤウナ規定ヲ大體作リタイ、斯ウ
云フヤウナコトニ相成ツタノデゴザイマス、
制度ト致シマシテハサウ云フコトニ相成ツ
テ居ルノデアリマス、此ノ學務委員ノ職
制等ニ付キマシテハ、文部大臣ガ之ヲ定メ
ルコトニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマ
スガ、其ノ職制ノ最モ重大ナル點ブ此ノ就
學ノ獎勵ト云フ點ニ置キタイト斯様ニ考ヘ
致シタイト考ヘテ居ルナヤウ次第デゴザイ
マス、次ニ青年學校ノ制度ヲ畫面制ヲ本則
トスルト云フヤウナコトガ、教育審議會ノ
御答申ニ相成ツテ居ルノデゴザイマス、當局
シテ青年學校ノ振興會ト云フヤウナ組織ヲ、
御答申ニ相成ツテ居ルノデゴザイマス、當局
與フル限リ組織致サシメマシテ、先程申上
ゲマシタヤウニ各層ノ協力ニ依リマシテ此
ノ鄉土ノ青年ノ教養ヲ完カラシメタイト、
ト致シマシテモ、斯ウ云フ方面ニ青年學校
ノ經營ヲ持ツテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居
ルノデアリマシテ、厚生省ト協同シテ立案
致シマシタヤウナ勞働立法ト云フヤウナモ
ノガ出來マスルト、斯ウ云フ點ニ於キマシテ
ス様ニ考ヘテ居リマスヤウナ次第デゴザイ
マス、次ニ青年學校ノ就學ヲ十分ナラシメ
テ、相當寄與スル所ガ多カラウト考ヘルノ

年學校ニ行カセルヤウナコトヲ考ヘナケレ
バイケナイノデヤナイカ、斯ウ云フ御話デ
ゴザリマシタ、此ノ點亦全ク御同感デアリ
メテ必要デアツテ、之ニ十分ナ方法ヲ講ゼラ
レタイト云フ御意見デアリマス、是ハ其ノ
通リデゴザイマシテ、當局ト致シマシテモ
先般申上ゲマシタヤウナ豫算ヲ計上致シテ
居ルノデアリマスガ、尙就學獎勵ノ實ヲ舉
ゲマスル爲ニ、鄉土ハ打ッテ一團トナツテ、
郷里ノ青年ヲ盛立テヤルト云フ、サウ云
フ景園氣ヲ作リマスコトハ必要デアリマス、
シテモ、學務委員制度トシテ設ケタイト考
ヘテ居ルノデアリマス、此ノ學務委員ノ職
制等ニ付キマシテハ、文部大臣ガ之ヲ定メ
ルコトニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマ
スガ、其ノ職制ノ最モ重大ナル點ブ此ノ就
學ノ獎勵ト云フ點ニ置キタイト斯様ニ考ヘ
致シタイト考ヘテ居ルナヤウ次第デゴザイ
マス、次ニ青年學校ノ制度ヲ畫面制ヲ本則
トスルト云フヤウナコトガ、教育審議會ノ
御答申ニ相成ツテ居ルノデゴザイマス、當局
シテ青年學校ノ振興會ト云フヤウナ組織ヲ、
御答申ニ相成ツテ居ルノデゴザイマス、當局
與フル限リ組織致サシメマシテ、先程申上
ゲマシタヤウニ各層ノ協力ニ依リマシテ此
ノ鄉土ノ青年ノ教養ヲ完カラシメタイト、
ト致シマシテモ、斯ウ云フ方面ニ青年學校
ノ經營ヲ持ツテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居
ルノデアリマシテ、厚生省ト協同シテ立案
致シマシタヤウナ勞働立法ト云フヤウナモ
ノガ出來マスルト、斯ウ云フ點ニ於キマシテ
ス様ニ考ヘテ居リマスヤウナ次第デゴザイ
マス、次ニ青年學校ノ就學ヲ十分ナラシメ
テ、相當寄與スル所ガ多カラウト考ヘルノ

デアリマス、唯併シナガラ今日一擧ニ一切ノ
青年學校ヲ畫間制ト致シマスルコトハ、之ガ
地方ノ產業上ニ及ス影響カラ申シマシテモ、亦
専用教室ヲ少クトモ必要トスルト云フ事態
ニ於キマシテ、是ハ地方財政一般ノ點カラ
申シマシテ、又殊ニ資材ニ關シマスル供給方
基ダ不足シテ居リマスル今日ノ現況ニ於キ
マシテ、又一面ニ是等ヲ助成スベギ國庫ノ
財政關係等ヨリ致シマシテ、今日直チニ總
テノ都市ニ於ケル所ノ青年學校ノ教育ヲ畫
間制トルト云フ點ニ決定致シマスルコト
ハ、尚困難ナル實情ニゴザイマスルノデ、
此ノ點ハ此ノ理想ニ向ヒマシテ進ミ得マス
ルヤウニ逐次努力致シタイト考ヘテ居ル次
第デゴザイマス、最近青年學校ノ經營上最
モ困難ト致シマスル大都市方面ニ於キマシ
テモ、青年學校ニ對シマスル所ノ理解ガ非
常ニ進ンデ參リマシテ、東京市、大阪市等
ノ如キニ於キマシテモ、青年學校ノ施設ニ
運フ一層助長致シマシテ、都市殊ニ大都市
方面ニ於キマスル所ノ此ノ教育ガ、有效ニ
且適切ニ行ハレマスルヤウニ、當局ト致シ
マシテモ一層努力致シタイト考ヘテ居ルヤ
ウナ次第デゴザイマス、次ニ青年學校ノ中

ニ非常ニ時數ノ多い學校ガアルデハナイカ、表ニ依リマスルト千五百時間ト申シマスルヤウナモノハ、是ハ私カラ申上ゲル迄爲ニ斯様ナ多クノ時數ト相成シテ居ルヤウナ次第デゴザマイス、此ノ教育審議會ノ御答申ニゴザイマシタ中ニ、矢張リ義務トシテ課スペキ所ノ最高時數ヲ限定スルヤウニト云フ御答申ガアツタノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、當局ト致シマシテハ種々考究モシ、又關係方面トモ色々折衝致シマシタ結果、義務トシテ課スペキモノハ二百十時間ト云フコトニ限定致スコトニ致シマス、諸般ノ準備ヲ進メテ居リマスルヤウナ次第デゴザイマス、次ニ補助法ノ問題デゴザイマスガ、此ノ金額デアルトカ或ハ補助率ト云フヤウナモノヲ明示スルノガ適當デハナイカト云フ御話デゴザイマシテ、此ノ點ハ當局ト致シマシテモ全ク御同感ナノデゴザイマスルガ、今日是ガ出來マセヌデシタ事情ト云フモノハ、先程御答ヘ申上ゲタヨウナ次第デゴザイマス、併シナガラ一昨日モ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、文部當局トシテ考ヘテ居リマスルコトハ、青年學校ノ義務制ノ實績ガ大體判明シ、從ヒマシテ地方ノ負擔、又之ニ對シテ取ルベキ所ノ國

庫ノ負擔ト云フモノガ先づ確定致シマシタ
場合ニ於キマシテハ、此ノ現在ゴザイマス
ル所ノ不完全ナル國庫補助法ヲ、國庫負擔
法ニ改メタイト云フ實ハ希望ヲ有シテ居ル
ノデゴザイマス、斯ウ云フ場合ニ於キマシ
テハ、此ノ青年學校教育ニ對シテ國庫ガ幾
ラ位ノ負擔ヲナスペキカト云フヤウナコト
ニ關シマシテ、何等カ合理的ナル規定ヲ此
ノ負擔法ノ中ニ明定致シタイト云フ希望ヲ
有シテ居ルノデゴザイマシテ、其ノ點ヲ申
上ダタイト存ジマス、尙此ノ補助金ハ市町
村ニ對シテ交付致スコトニ相成ッテ居リ
デゴザイマシテ、私立學校ニ對シマシテハ
此ノ補助金ヲ交付セザルコトニ致シテ居リ
マス、ソレハ申ス迄モナク私立青年學校ハ
任意ニ設置致スモノデゴザイマスルシ、且又
實情カラ申シマシテモ、私立青年學校ヲ經
營致シマスルモノハ、概々會社工場等ナノ
デゴザイマスルノデ、是等ニ對シマシテハ
差當リ市町村ト同様ノ國庫補助ヲ致ス計畫
ヲ有シテ居ラナイノデゴザイマス、唯併シ
ナガラ同業組合等ニ於キマシテ私立青年學
校ヲ設置致シマス場合ニ於キマシテハ、相
當ノ困難ノアル場合ガアルデハナイカト考
ヘマスルノデ、是等ノ設置ヲ勧獎致シマス
ル爲ニ、極メテ些少デハゴザイマスルケレ

ドモ、私立青年學校ノ設置獎勵費ト致シマ
シテ、昭和十四年度ノ豫算ニ五萬圓ノ補助
費ヲ計上致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマ
ス、次ニ本制度實施ニ伴シテ國庫負擔ハ斯
ウナツテ居ルガ、ソレガ地方財政ニ負擔ノ増
スペキ數字ガ幾何デアルカト云フ御尋デゴ
ザイマスルガ、是ハ計算シタモノガゴザイ
マスガ、今チヨット見付ケテ居リマスノデ、
チヨット御待チラ願ヒタイト思ヒマス

○田所美治君 意見ヲ申上ゲルノデハアリ
マセヌガ、保護者ガ義務ヲ負フコトニナリ
マシテ、私、外國ノ法制ニアルヤウニ思ヒマ
スガ、此ノ雇傭者ノ方ハ何等ノ法律上ノ義
務ハ負ハスト云フ、今ノ法制上カラ出マス
簡單ナ授業時數、教育時數ヲ計算スル云々
ト云フ位ナコトデヤルト云フコトデ御放任
ニナルト云フコトハ、非常ニ私ドウカト思
ハレルノデアリマス、第一マア保護者ハ遠
隔ノ地ニ居ッテ、北海道アタリニ居リマス、
子供ハ大阪ヘ行シテ働イテ居ル、東京ヘ來テ
居ル、保護者ハ就學セシムル義務ヲ負ウテ
居リマスケレドモ、工場主ハ學校ヘ行クナ
ラ行ケト云フダケデ、映畫館ヘ居シテ居ルノ
モ知ラヌ、或ハ又學校ヘ、兎ニ角工場カラ
出レバ宜イノデアリマスカラ、是ハ邪魔ヲ
セナ、ケレドモ積極的ニ獎勵スル義務ハ

保護者ガ負ウテ居ルト云フコトデハ、ドウ
カト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テハ尙實施迄ニ
今御調ガナケレバ御工夫ヲ願シテ、保護者ト
雇傭者ト云フモノノ關係ヲ御規定ニナラナ
クテハナラヌ、斯ウ云フコトハ直グニ頭ニ
浮ンデ來ルコト思ヒマス、ソコラノ點ヲ
十分ニ、是ハ工場ニ居リマス者モ可ナリ居
ルノデアリマスカラ、殊ニ工場ニ付テハ其
ノ問題ガアルト思フ、雇傭者ト保護者ノ關
係ト云フコトモ規定スル、サウ云フモノガ
ドウシテモ要ルグラウ、斯ウ思フノデアリ
マス、厚生省ニ委シテ置イテ工場ノ經營如
何ト云フコトダケデ雇傭主トハ連絡ヲ取ラ
ヌト云フコトデハイクマイト思ヒマスガ、
何カ其ノ邊ニ付テ御考ガアレバ伺シテ置キ
タイト思ヒマス、ソレカラ最低時間ハ二百
十時間ト云フコトニナッテ居リマス、其ノ外
ニ最高時數ヲ制限セヌトイカヌ、サウデナ
イト高等小學校ニ類似スルモノニナッテ來
ル、或ハ實業學校ニ類似スルモノニナッテ來
ル、青年學校ハ所謂業務ニ從事シテ居
サウシテ極力文化ヲ注入スルト云フコトニ
ナツテ居ルノデスカラ、最高時數千五百時其

ノ懲デ宜イト云フモノデハナイト思ヒマスガ、其ノ最低時ノ義務數ハ二百十時デアリマスカラシテ、其ノ外ニ何百時ヲ超過スルコトヲ得ズ、斯ウ云フコトヲ望ンデ居ッタヤウデアリマスガ、其ノ邊ニ付テ伺ッテ置キマス、ソレカラ文部當局ニ伺ッテ置キマスガ、是ハ先ニ申シマシタ兵役法ノ改正ガ通過シタ今日ニナリマスケレドモ、是ハ大分影響ヲ蒙リスママイカ、ソレニ付テ御意見ヲ伺ッテ置キタイ、六箇月ノ短縮デ段々其ノ方ニ自然青年學校ノ發達シテ來ルノヲ促スト思ヒマスガ、ソレガ今度廢止ニナリマスカラ餘程困難ガ増シテ來ルト思ヒマスガ、其ノ邊ニ付テハ御考ハ如何デスカ

省ニ一任シテ置クト云フ意味デハ勿論ナイトアリマシテ、其ノ立法手續ニ付キマシテ隨分研究シタノデゴザイマス、立法手段手段ヲ差當リ考ヘル外ナカッタト云フコトガ、他ノ方面ニ於キマシテ能ク雇傭主ニ對シマシテハ、義務制ノ意義、又日本ノ產業人トシテノ積極的ナル自覺ト云フコトニ依リマシテ、是非法制ガナクテモ積極的ニ就學ヲ獎勵致シマスヤウニ指導獎勵ヲ致シタイト斯様ニ考ヘテ居リマスヤウナ次第デゴザイマス、ソレカラ青年學校ノ時間數ノ問題デゴザイマスルガ、是ハ青年學校ハ實ハザイマス、鄉土ニ於キマシテ、鄉土ノ中ノ若干ノ青年ニ對シマシテ、將來其ノ中堅トナルベキ者ニ相當ノ教育ヲ施シタイ、鄉土ニ止マッテ居ル人間トシテ厚イ教育ヲ施シテ行キタイト云フ考ヨリ致シマシテ、普通科デハゴザイマセヌデ、本科等ノ區分ニ於キマシテ相當厚イ長時間ノ教養ヲ施シテ居リマスヤウナ次第デアリマス、例ヘバ御承知ノ通り鹿兒島縣等ニ相當アルヤウナ次第デゴザイマス、斯ウ云フヤウナノハ矢張リ今

後ト雖モ濫ニ流レザル限りニ於テハ或所迄
ハアツテモ宜ノデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ
居ルヤウナ次第デゴザイマス、唯併シナガ
ラ普通科ノ部面ニ付キマシテハ、斯ウ云フ
コトハ相當高等小學校トノ紛淆ヲ來ス虞ガ
アリマスノデ十分監督ヲ嚴重ニ致スベキモ
ノト考ヘテ居リマシテ、斯ウ云フコトハ國
民學校制度、所謂義務年限ノ延長問題ト云
フコトガ解決致シマスレバ、根本的ニ解決
致サル、ノデアリマスガ、其ノ過渡ノ時代
ニ於キマシテハ、高等小學校ヲ廢止シテ青
年學校ヲ普通科ニ變ヘルト云フコトハナキ
ヤウ、是ハ地方長官會議、學務部長會議ノ機
會ニ於キマシテ、是ハ文部省内部ノコトデ
ハゴザイマスルガ、普通學務局ノ當局ヨリモ
モ、社會教育局ノ當局ヨリモ、常ニ指示致シ
テ居ルヤウナ次第デゴザイマス、ソレカラ
兵役ノ關係デゴザイマスルガ、兵役法ノ改
正ノ結果ガ青年學校ノ就學率ノ上ニ影響ヲ
及スコトガナイカト云フ御話デゴザイマス
ルガ、此ノ點ニ關シマシテ前年兵役法ノ改
正ガゴザイマシタ節ニモ色々御議論ガゴザ
イマシタシ、又當局ノ考モ申述ベタノデゴ
ザイマス、當局ト致シマシテハ、此ノ兵役
法ノ趣旨、又兵役法改正ノ趣旨、又青年學
校ノ本旨、現下ノ時局ニ於ケル所ノ青年學

校ノ意義ト云フヤウナモノヲ十分ニ徹底致
ナ次第ナノデゴザイマス、實際ノ結果カラ
申シマシテ此ノ點ハ相當事實問題ト致シマ
シテ、當局ト致シマシテハ相當ノ心配ヲ持
チマシテ青年學校ノ就學率ノコトヲ考慮致
シタノデゴザイマスガ、幸ニ致シマシテ昭
和十三年度ニ於キマス所ノ實績ハ、是ハ昭
和十三年度ニ入リマス頃ニハ兵役法ノ問題
ガ既ニ公布サレタ後ナノデゴザイマスガ、
義務制ヲ實施スルト云フコトヲ之ニ伴ヒマ
シテ兵役法ノ改正ノ趣旨、又義務制實施ノ
趣旨ト云フヤウナコトヲ十分各方面ニ於テ
モ努力致シマシタ結果モアッタコトト存ズ
ルノデアリマスルガ、幸ニ致シマシテ昭和
十三年度任意制度ノ最後ノ段階デアッタノ
デアリマスルガ、却テ就學率ガ向上シテ
居ツタト云フヤウナ實狀ヲ示シマシテ、實ハ
當局ト致シマシテ多少安堵モシ、又喜ビモ
感ジタヤウナ次第デゴザイマス、併シナガ
ラ何ト申シマシテモ此ノ問題ハ現實ノ問題
ト致シマシテ、當局ト致シマシテハ兵役法
改正ノ結果ガ青年學校ノ就學率ノ向上ニ惡
影響ヲ及サシメナイト云フ點ニ向ヒマシテ
ハ、事實問題ト致シマシテ相當ノ努力ヲ致

サネバナラナイト考ヘテ居リマスヤウナ次
第デゴザイマス

○田所美治君 チヨント簡単デゴザイマスカラ……最高時數ヲ御決メニナラヌト云フト、ソレハ特殊ノ鹿兒島アタリノ御話ガアルカラト云フ御話デアリマスガ、直グニ考ヘラレルコトハ千五百時ハ是ハ最高ノモノノ例ガ出テ居リマスルガ、「二百時」デヤナクテ五六百時ノモノガ澤山方々デ拜見スル、農村地方ノ者方が多イノデゴザイマスガ、此ノ工場主ガ、晝疲レルト云フコトノ先程來御質問モアツタ、其ノ場合ニ六百時ノ學校へヤラナクチヤナラヌ、工場主ノ義務ハ二百十時間モアシイ、ソレ以上ハ學校ガ五六百時間ヤツテ居ッテモ、後ノ三四百時ハ學校へ行カヌデモ宜シイト、斯ウ云フヤウナコトガ直グ想像サレルノデスガ、其ノ邊ハドウ云フヤウニ御考ニナツテ居リマスカ、ソレラヲ基ニシテ最高時數ヲ矢張リ決メナクテハナラヌ、學校ノ方ハ六百時ニシテ置ク、工場カラ二百十時間シカ與ヘヌト云フコトニナルト、直グソコニ衝突ガ來ル、三百時ヲ制限ニスルトカ、二百五十時ヲ制限ニスルトカ、斯ウ云フコトハ教育ノ方面カラ言ヘバ遺憾千萬デアリマスケレドモ、ソレガ青年學校ノ性質デアル、ソレダカラ満十九迄七年ノ

間モ此ノ義務ヲ負ハス、即チ輕イ義務デア
ル、ケレドモガ國民ノ修養上ニハ非常ニ役

ニ立ツ、斯ウ云フコトデ釣合ヲ取シテ是ハ
制度デアラウト思ヒマスカラ、他ニ千五百
時ガアルカラ多々益々辨ズルト云フコトデ
ハ是ハ趣旨ガ違ツテ來ル、斯ンナニ私ハ考ヘ
ルノデアリマス、ソレ故ニ此ノ間本質ヲ伺
ヒタイト申シタノデスガ、チヨット今ノ御説
明ガ足ラヌ所ガアルト思ヒマスカラ、ソレ
ダケ伺ツテ置キマス

ニ工夫ヲ凝ラシタイ、 第デアリマス

○田所美治君 兵役ノ關係ハ、此ノ時局スカラ無論兵役ヲ嫌フ者ハ無イデアリマ、ウガ、今度普通科ノ一年ガ義務ニナリ、大科ノ方ハ義務デナイ、向ウ五箇年ト云フノハマダ任意制デアリマスカラ、ソレガコノ将来ニ平定シマシタ曉ニハ、折角向上ニ掛ケテ居ル青年教育ガ此ノ特典ヲ失フノアリマスカラ、平時ニ復スルト云フト、工場ニ行ッテ儲ケル方ガ宜イ、斯ウ云フコトニナツテ來ル虞ガアリハシナイカ、一齊ニ青年教育ガ、ドン／＼其ノ本科ニ付テモ義務トナル、斯ウナル譯デハナイノデアリマスカラ、其ノ方ニ大影響ヲ及シテ來ヤシナカ、餘リ樂觀ガ出來ヌデヤナイカ、殊ニ時局中デモ、義務デナイカラ工場ニ戻ツテ今非常ニ好イ俸給ヲ取ッテ居ル、高等小學ノ卒業生ガ何十圓、何十圓ドコロデハナイ百圓内外ノ收入ヲ取ッテ居ルト云フコトモ聞クノデアリマス、ゾンナ場合ニザイマセヌナラバ、將來ニ付テ深甚ナル御ナカ／＼青年學校ニ殘ル者ハ無イト思フ、ソコニ困難ハナイカ、ソコデ尙御考慮ガ考慮ヲ願ハナケレバナラヌノデハナイカト

思フ、ソレカラ立法上ノ規定ハ何モ設ケヌ
ト云フ御詫モアリマシタガ、省令ヤ勅令等ニ
於キマシテ相當ノ仕事ヲ御命ジニナルト云
フコトガ色々アリハシナイカ、今之ヲ例ヘ
テ申シマスト、工場ハ軍需工業デ忙シイ、
ソシナ事ハ出來ルモノカ、唯二三時間ヲ教
育ノ爲ニ割愛スルヨトハ宜シイ、工場ノ方
ハ此ノ位ノ勢ダラウト思ヒマス、ダカラ此
ノ義務ヲ全ウシ普及シヨウト云フコトハ、
チヨット放擲セラレルヤウナ感ガ致シマス
カラ、其ノ點ニ付テハ尙研究ヲ願ヒタイト
思ヒマス

○政府委員(小柳牧衛君) 只今ノ御質問ノ
中、兵役法ニ付テノ御質問ニ對シテ御答ヘ
致シタイト思ヒマス、只今ノ御質問ハ兵
役法ノ改正ノ結果、青年學校卒業者ノ在營
期間ノ短縮ノ問題ガ無クナツタ爲ニ就學率
等ニ影響シ、或ハ勉學ニ熱心ヲ缺ク虞ハナ
イカト云フ御質問デ誠ニ御尤ト存ジマス、
當局ニ於キマシテモ其ノ點ハ、非常ニ苦心
シテ居ル點デアリマス、唯此ノ制度ノ改正
ノ情勢カラ考ヘテ見マスルト、實ハ以前ニ
ハ在營年限ノ期間ノ短イト云フコトニ依ッテ
青年學校或ハ青年訓練所ニ希望シタ者モ大
分アツタラウト存ジマスガ、最近ノ實際ノ狀
況ヲ見マスト、或ハ雇傭主トカ父兄ノ方カ

ラ云フト、在營期間ノ短縮ヲ希望シテ居ル
方ガ強イヤウデアリマスガ、生徒ノ方カラ
申シマスト、無論サウ云フ人モアリマセウ
ガ、寧ロ多數ハ、青年學校ヲ卒業シタ人ニ
對シテ或特典ヲ置イテ貰ヒタイ、即チ階級
ガ上ニナルト云フコトヲ非常ニ希望シテ居ッ
タヤウニ私ハ承知シテ居リマスノデ、或場合
ニハ青年學校ヲ卒業シタ人ニ特殊ノ徽章ヲ制
定シテ、著ケサセテ吳レトカ云フコトヲ言ッ
テ居ル地方モアッタヤウニ聞イテ居リマス、
即チ生徒ノ方カラ言フト、年限ノ短縮ト云
フコトヨリモ、階級、即チ星一つ餘計ニナ
リタイト云フ希望ガ多イヤウニ感ゼラレタ
ノデアリマス、斯ウ云フヤウナ者ハ青年學
校ノ習得ニ依リマシテ、多クハ良イ地位ニ
進ンデ居リマスカラ、其ノ點ニ於テ青年學
校ヲ非常ニ希望シテ居ッタ者モアッタヤウデ
アリマス、此ノ點ハ今度義務制ニナリマス
ト、全部同ジデアリマスカラ甲乙ナイヤウ
ニモ考ヘラレマスガ、併シ義務制デナリ現
在ノモノニ對シテハ、此ノ點モ相當働くノ
デハナカト考ヘルノデアリマス、併シ
バナラヌコトト存ジマスノデ、此ノ青年學
校ノ使命等ヲ、生徒ヲ初メ父兄等ニモ能ク
徹底セシメマシテ、サウシテ所期ノ目的ヲ

達スルヤウ一層ノ努力ヲ致シタイト存ズル
次第デアリマス

○委員長(侯爵德川義親君) ソレデハ今日

ハ是デ散會致シマス

午後三時三十九分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵德川 義親君

副委員長 子爵清岡 長言君

委員

男爵紀俊秀君

下村 宏君

男爵大森 佳一君

田所 美治君

岩崎 清行君

政府委員

文部政務次官 小柳 牧衛君

文部省社會教育局長 田中 重之君

文部省圖書局長 近藤 壽治君

昭和十四年三月十三日印刷

昭和十四年三月十四日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局